

### 3. 前計画(第2期上天草市子ども・子育て支援事業計画)の評価・検証

#### (1)上天草市子ども・子育て支援事業計画の事業の達成状況

上天草市子ども・子育て支援事業計画に対する令和 6 年度の進捗状況を全体で見ると、達成状況が 100%となっている項目は 12.5%であり、75%以上は 65.0%となっており、あわせると 77.5%となります。

また、事業内容が具体的な数値でない項目や、達成率が出せない項目もあり、一概に評価できない項目もあります。

#### ■事業の達成状況

| 目標名                               | A<br>(100%) | B<br>(75%~100%未満) | C<br>(50%~75%未満) | D<br>(25%~50%未満) | E<br>(25%未満) |
|-----------------------------------|-------------|-------------------|------------------|------------------|--------------|
| 幼児期のこどもの成長を支える環境づくり3項目<br>(基本目標Ⅰ) |             | 100%              |                  |                  |              |
| すべての子育て家庭を支える環境づくり17項目<br>(基本目標Ⅱ) | 17.6%       | 47.1%             | 35.3%            |                  |              |
| みんなが育つ環境づくり6項目<br>(基本目標Ⅲ)         |             | 83.3%             | 16.7%            |                  |              |
| 子育てと仕事の両立を応援する環境づくり1項目<br>(基本目標Ⅳ) |             |                   | 100%             |                  |              |
| 安心して生活できる環境づくり13項目<br>(基本目標Ⅴ)     | 15.4%       | 76.9%             | 7.7%             |                  |              |
| 全体40項目                            | 12.5%       | 65.0%             | 22.5%            |                  |              |

## (2)施策別にみた基本目標の取組内容と課題

### 基本目標Ⅰ 幼児期のこどもの成長を支える環境づくり

---

#### ①保育サービスの充実

##### 【取組内容】

- 上天草市は、令和6年4月時点で公立保育所2園、私立保育園9園、私立幼保連携型認定こども園3園の保育施設があり、保育所等利用児童の減少については、毎年市内保育施設と協議により対応し、必要量以上の減少にならないよう対応しました。
- 令和2年4月から私立保育園の内2か所が幼保連携型認定こども園に移行したことにより、教育認定を望む保護者についても預かる体制をさらに確保しました。

##### 【課題】

- 公立保育所・私立保育所等の入所児童数は減少傾向にあることから、今後の教育・保育に係る需要見込みと施設運営の存続について、検討が必要です。
- 私立保育園及び幼保連携型認定こども園のうち、大矢野あゆみこども園が令和4年度末から新園舎となりました。みつる保育園について令和7年度に改修を予定していますが、他の私立保育園も施設の老朽化を迎えていることから、施設改修について、検討が必要です。

#### ②就学前の教育の充実

##### 【取組内容】

- 保育所等における幼児教育・保育の専門性を高めるため、熊本県、熊本県保育協議会をはじめ、各団体からの研修等については、公立・私立保育所等に広く案内しました。

## 基本目標Ⅱ すべての子育て家庭を支える環境づくり

### (1)地域で子育てを支える環境づくり

#### ①地域における子育て支援サービスの充実

##### 【取組内容】

- 子育て支援センターは、委託事業として大矢野町に3か所、松島町に1か所、龍ヶ岳・姫戸町に1か所設置し、施設ごとに親子で楽しめるイベント等を実施しました。
- 一時預かりについては、保育園の自主事業として行いました。
- 子育て短期支援事業は2施設に委託し実施しました。利用者数は、年々減少傾向であり、さらなる周知が必要です。
- 病児・病後児保育事業は、大矢野町の1か所の医療機関に事業を委託し、実施しました。
- 放課後児童クラブは、社会福祉法人等に事業を委託し11か所で実施し、うち4か所は小学校を利用しました。運営にあたり施設の指導員を招集し、意見交換会を実施しました。また、利用者向けの満足度調査を行いました。
- 新・放課後子ども総合プランに基づく、一体型の放課後児童クラブについては、設置できませんでしたが、令和6年度4月から市内2か所の放課後児童クラブの活動場所を小学校施設等に移して実施しました。

##### 【課題】

- 子育て支援センターの施設同士での交流が少ない状況です。また、施設によって利用者数に差があります。
- 子育て短期支援事業は、利用者が減少する一方、他市町村からの受入れも行っているため、希望日の予約が取れない場合が発生しています。
- 放課後児童クラブの小学校等での利用について、関係機関との具体的な協議が必要です。

#### ②子育て支援のネットワークづくり

##### 【取組内容】

- 民生委員・児童委員と連携し、悩み相談等があれば、随時子育て世帯の情報共有を行いました。
- ファミリー・サポート・センター会員向けに子育て等に関する講習会を実施しました。

##### 【課題】

- ファミリー・サポート・センターの利用者数は増加傾向にありますが、当該事業があまり認知されていない状況です。そのため社会福祉協議会と連携し、周知活動を継続していくことで、利用者のさらなる増加を図る必要があります。

## (2)健やかに育つ環境づくり

### ①安心して出産できる体制整備

#### 【取組内容】

- 妊婦健康診査受診票（14回分）及び妊婦歯科健康診査受診券を公費負担で交付し、妊娠週数に応じて各健康診査を受診することで、早産や低体重児出生が減少しました。
- 母子手帳交付時に全妊婦に保健指導を実施し、妊婦健康診査の受診勧奨を行うとともに、妊娠中の飲酒や喫煙リスク等の知識の普及を図ることで、健康な妊娠期間の継続につなげました。

#### ■母子手帳交付数及び低体重児数

|         | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 母子手帳交付数 | 136 | 148 | 159 | 111 | 116 |
| 低体重児数   | 11  | 13  | 11  | 13  | 4   |

#### ■妊婦の飲酒率及び喫煙率

|     | H22  | R3   | R4   |
|-----|------|------|------|
| 飲酒率 | 4.8% | 3.0% | —    |
| 喫煙率 | 8.7% | —    | 2.2% |

#### 【課題】

- 様々な理由（若年及び高齢妊婦や養育状況等）から、妊娠の届出が遅れた場合に、妊婦健康診査を14回受けられず個別の支援が必要なケースがあり、産後も継続しフォローが必要なケースが見受けられます。
- 妊娠中の飲酒率及び喫煙率が0%ではないため、引き続き、母子健康手帳の保健指導内容の見直しに加え、妊娠前からの飲酒及び喫煙のリスクに対する正しい知識の普及が必要となっています。

### ②こどもや母親の健康の確保

#### 【取組内容】

- 妊娠届があったすべての妊婦に個別の保健指導を行いました。
- 乳幼児健診の他、毎月各町において育児相談日を設け（1～2回）、保健師、栄養士が対応できる体制を整えています。
- 就学までの最後の健診となる3歳児健診においては、受診率は9割を維持しています。正規の健診日には未受診となった方も、後日受診できており、令和5年度は対象者全員が3歳児健診を受診することができました。
- むし歯保有率は1歳6か月児及び3歳児健診ともに国、県の数値を上回っているものの、年々減少傾向にあります。

■健診受診率・むし歯保有率

(%)

|              | R2    | R3    | R4    | R5   | R6<br>(8月時点) |
|--------------|-------|-------|-------|------|--------------|
| 3～4か月児健診受診率  | 97.2  | 96.9  | 95.4  | 96.3 | 71.8         |
| 6～7か月児健診受診率  | 91.8  | 94.4  | 93.9  | 95.3 | 97.1         |
| 1歳6か月児健診受診率  | 81.6  | 84.2  | 88.0  | 93.0 | 95.1         |
| 3歳児健診受診率     | 98.6  | 97.9  | 97.9  | 97.3 | 97.2         |
| 1歳6か月児むし歯保有率 | 1.59  | 1.96  | 0.8   | 0.93 | —            |
| 3歳児むし歯保有率    | 23.08 | 21.68 | 12.68 | 11.3 | —            |

※地域保健報告より

【課題】

- 乳幼児健診未受診者に対しては、個別に受診勧奨を行っていますが、受診率 100%を達成できていないため今後も推奨を強化していく必要があります。
- 3歳児のむし歯がない子の割合は国、県の目標に達していないため、改善していく必要があります。

### ③食育の促進

【取組内容】

- 令和 3 年度から食を通して生活リズムや生涯を通した望ましい生活習慣の形成及び生活習慣病予防を身につけ、適正な時期（生後 5 か月）に円滑に離乳食が開始されることで、乳幼児の健康的な成長・発達につなげるために離乳食教室を実施しました。
- 3歳児健診において、個別に食事等の取り方、栄養状態を把握し、個人に応じた栄養指導を実施しています。また、育児相談にて個別に栄養に関する相談に応じています。
- 学童期では学校給食での地産地消をとり入れた食育を実施しました。

【課題】

- 令和 5 年度の離乳食教室において参加者 57 人のうち、やせぎみ 2 人、太りぎみ 19 人で、太りぎみのうちカウプ指数 20.0 以上が 4 人いました。（定期的に計測しフォローしています。）
- 1 歳 6 か月児健診での肥満度については、離乳食教室不参加者では肥満度+15%以上の割合が高いため、今後は希望者だけでなく全員に受けてもらうようにしていく必要があります。そのためには、栄養士等のマンパワーの確保が必要です。
- 令和5年度の3歳児健診問診票の結果より食事について、心配なことがある人の割合が30.1%であり、3歳児健診や相談等で不安等を軽減させ、望ましい食習慣が確立できるよう支援が必要です。

#### ④思春期保健対策の充実

##### 【取組内容】

- これまで家庭科で行っていた保育園実習がコロナ禍ということで実施できず、その後も再開できていません。
- 中学2年生の職場体験学習において、乳幼児と直接触れ合うことで生命の大切さ、家庭の大切さを学ぶ機会となっています。
- 思春期にある生徒たちが、自分がかげがえのない存在であること、妊娠及び出産のすばらしい面、大変な面等を捉え、思春期の心と身体づくりにつなげることを目的に、市内の中学校を対象に、令和元年度から思春期講話を実施しています。

##### ■思春期講話の実施(上天草高校対象)

|    | R2 | R3 | R4 | R5 | R6<br>(8月時点) |
|----|----|----|----|----|--------------|
| 回数 | 2  | 2  | 2  | 2  | 2(予定)        |

##### 【課題】

- 保育実習については連携を取りながら、再開の時期を模索していく必要があります。
- 20歳未満の妊娠届は、令和2年度以降、5件以下で推移していますが、今後も若年妊娠や養育に支援が必要な特定妊婦等へは関係機関と連携したフォロー体制が必要です。
- 薬物乱用・飲酒喫煙防止教育については、保健所や学校との連携した取組が必要です。

#### ⑤小児医療の充実

##### 【取組内容】

- 令和6年8月診療分から子ども医療費助成の医療機関等における現物給付の対象地域を上天草市内から熊本県内へ拡充を行いました。

##### 【課題】

- こどもや保護者が安心して気軽に医療機関等を受診できる反面、安易な受診の増加や市が医療費の一部負担金を負担しているという意識の低下が懸念されます。

### (3)ひとり親家庭への支援

#### 【取組内容】

- 母子父子自立支援員を配置し、母子父子福祉資金等、情報提供を行うとともに、ひとり親家庭からの様々な相談に随時対応しています。
- 「上天草市母子家庭高等職業訓練促進給付金」制度の利用者は減っており、令和5年度は0件となっており、制度利用に関する相談そのものがほほない状況です。
- 随時相談を受け付け、必要に応じて福祉資金貸付や他の関係機関と連携を図り、ひとり親家庭の自立支援を行いました。

#### 【課題】

- 相談件数は少しずつ増えていますが、相談として拳がりにくいケースもあるとみられ実態は把握しづらい状況です。
- 「上天草市母子家庭高等職業訓練促進給付金」制度については、利用者件数が少ないため、周知方法について検討する必要があります。

## 基本目標Ⅲ みんなが育つ環境づくり

### (1)こどもの生きる力を育む教育環境づくり

#### 【取組内容】

- 小中学校の教育環境の充実を図るため、教科授業におけるチームティーチングや個別指導を行う学習支援員、特別支援教室や通常学級で学習活動に支援が必要な児童生徒に対し補助業務を行う特別支援教育補助員を設置し、きめ細やかな支援を行いました。
- 令和4年度から令和6年度には、市内4小学校の屋内運動場の大規模改修工事を実施し、学校施設の環境改善に努めました。
- 学習塾の講師、元教員等、幅広い地域住民の協力を得て、学習習慣の確立や基礎学力の定着、学習意欲の向上等を支援するため「地域未来塾」を実施し、もって小中学生の学力及び地域の教育力の向上を図っています。

#### 【課題】

- 学習支援員等を含めた人員確保及び人材育成が課題です。
- 専門相談員の継続的な確保及び人材育成については課題です。
- 地域未来塾及び地域学校協働活動に対する学校側の理解が必要です。
- 放課後児童クラブ活動場所を小学校施設等で活動するに伴い、安全管理等の面で課題が生じています。

## (2)こどもと家庭が地域で学び・育つ環境づくり

### 【取組内容】

- 国や県、関係機関等のチラシ等を広報誌で周知しました。
- 上天草市男女共同参画週間の期間中に上天草市男女共同参画フォーラムを企画し、男女共同参画を考える機会を設けました。
- 園児や児童・生徒の保護者等に対して、くまもと「親の学び」プログラムを実施し、家庭教育の機会の充実を図りました。

## 基本目標Ⅳ 子育てと仕事の両立を応援する環境づくり

---

### ①多様な働き方の実現

#### 【取組内容】

- 国や県、関係機関と連携して、企業に対して育児休業制度の周知を図るとともに、育児休業の取得促進、両立支援に関する制度等の PR と活用促進を図りチラシ等を広報誌で周知しました。

## 基本目標Ⅴ 安心して生活できる環境づくり

---

### (1)要保護児童に対応できる環境づくり

#### ①児童虐待防止対策の充実

#### 【取組内容】

- 個別ケース検討会議を開催し、児童虐待（疑い）の情報共有と支援内容の検討を行いました。また、代表者会議を開催し、関係機関との連携強化を図るとともに、年1回の実務者研修を開催し、関係者のスキル向上に取り組みました。
- 令和2年度に、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施するために、健康づくり推進課内に子育て世代包括支援センターを設置し、令和3年度から妊娠届出時や健診等で支援等が必要な妊産婦や乳幼児を把握した場合、子育て支援課につなぎ両課で連携・協働し虐待予防を図りました。
- 妊娠届出時に全妊婦にアンケートを行い、特定妊婦等に対しては妊娠中から子育て期にわたり継続したフォローを行い、虐待リスクの低減に努めました。
- 令和3年度から健康づくり推進課と子育て支援課でケースに対して情報共有会議を月1回開催し連携を図りました。
- 令和6年4月にこども家庭センターを設置し、母子保健機能と児童福祉機能が一体的に相談支援を実施する体制を整えました。  
こども家庭センター「すくすく♡上天草」（母子保健機能）では、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施しました。

**【課題】**

- 年々、相談件数が増加しており、知識・経験のある職員の確保や増員が必要です。
- 出生数は減少していますが、ケースが複雑・多様化しており、きめ細やかな支援が必要です。
- 特定妊婦等への支援には、医療、保健、福祉、教育等、他分野にわたる連携を行い、支援する必要があります。

**②障がい児施策の充実****【取組内容】**

- 乳幼児健診等において、疾病や障がいの早期発見及び早期療育への対応を図りながら、スムーズな就学へとつなげるために、教育・保健・福祉の関係機関が連携し特別支援教育就学移行支援ネットワーク会議（年4回）を実施しています。
- 3歳児健診以降も、就学までの切れ目のない支援を目指し、心理士による子育て相談や市内全保育園への巡回訪問を行い、こどもとその保護者を支援できる体制を整えています。

**■子育て相談件数**

(回)

|             | R2 | R3 | R4 | R5 | R6<br>(8月末時点) |
|-------------|----|----|----|----|---------------|
| 子育て相談件数(延数) | 45 | 33 | 18 | 17 | 12            |

- 特別支援教育連携協議会を2回、実務担当者会を2回開催し、特別に教育的ニーズを必要とする児童生徒への支援・指導体制の整備を行いました。
- 巡回相談事業を活用し、特別支援学校から地区コーディネート会議に7回、個別相談に保育園1回・小学校17回、中学校8回来園来校いただき、助言や指導をいただきました。
- 地域療育通園事業（キラキラ仲間）にて、こどもに対する療育支援を行うとともに、親子活動を通してこどもへのかかわり方や接し方を学んでもらう等、保護者への支援を実施しました。
- 就学前の障がい児については、児童発達支援にて日常生活や集団生活の訓練等のサービスを提供しました。
- 就学後の障がい児に対して放課後等デイサービスにより生活訓練や社会交流等のサービスを提供しました。

**■障害児通所支援等の利用者数**

(人)

|            | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|------------|------|------|------|
| キラキラ仲間     | 19   | 26   | 20   |
| 児童発達支援     | 10   | 10   | 11   |
| 放課後等デイサービス | 45   | 37   | 37   |

- 専門的知識を持った指導員の育成について、団体からの研修等については、各放課後児童クラブに広く案内しました。

【課題】

- 専門医療機関の受診までに、2～3か月を要することから、早期対応に繋がりにくい状況があります。このような問題を解決するために、発見から受診を待たず、早期に療育を開始できるよう地域のフォロー体制（受け皿）の整備が必要です。
- 特別支援教育補助員や看護師等、必要な人材の継続的な確保が重要です。
- 児童生徒の多種多様なニーズに対応するための支援者のスキルの向上を図る必要があります。
- 上天草市内に児童発達支援の事業所がなく近隣自治体の事業所へ通所しなければならないため、保護者の送迎負担等がある状況です。また、放課後等デイサービスの事業所も市内に1か所しかなく、姫戸町、龍ヶ岳町の利用者は移動に時間がかかりサービスの利用時間が短時間になっています。
- 本市の資源が少ないことが課題であるため、事業所を呼び込む・拠点を作る等、今後取り組んでいかなければならない課題が多くあります。

### ③こどもの貧困対策の推進

【取組内容】

- 収入が少なく一定基準を下回る世帯に対して、就学援助として学用品費や給食費、修学旅行費等、就学に必要な費用を援助することで、円滑な就学に結びつけることができました。  
また、市HPや広報等で周知を行い、学校と連携しながら申請漏れがないように努めました。
- 新1年生になる児童生徒がいる世帯についても、入学前から就学援助について周知を行い、ランドセルや制服等、入学に必要な費用を入学する前に援助しました。令和5年度援助人数は、小学校：103人、中学校：59人の計162人となっています。
- 能力があるにも関わらず、経済的理由によって修学困難な者に対し、奨学金を無利子で貸与することで、社会に貢献する人材の育成を図ることを目的に事業を実施しました。  
(貸与区分) 大学区分：月額3万円×12月、高校区分：月額2万円×12月

■学費貸与実施者数

(人)

|      | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------|----|----|----|----|----|
| 大学区分 | 9  | 8  | 3  | 5  | 5  |
| 高校区分 | 28 | 27 | 32 | 28 | 24 |

※ (貸与区分) 大学区分：月額3万円×12月、高校区分：月額2万円×12月

【課題】

- 一定基準を定めているため、前年度の世帯収入が基準を超えた場合は認定ができないことです。
- 日本学生支援機構奨学金や熊本県育英資金と比べて、貸与額が低く固定の為、有利子の奨学金を選択する奨学生もいます。

## (2)子どもが安心して生活できる環境づくり

### ①交通安全、防犯対策の推進

#### 【取組内容】

- 学校においては地域の交通指導員を招聘し、交通安全教室を実施し、交通ルールの順守や自転車の乗り方についての指導、自転車の点検等を行っていただき、児童生徒の交通安全に努めました。
- 自転車保険について、毎年 PTA 総会や文書等で周知を行い、交通安全についての意識を高めました。
- 上天草市通学路等交通安全推進会議を設置し、保育所や小中学校の通学路及び散歩道を点検し、交通安全及び犯罪防止の観点から危険があると認められる箇所を抽出し、対策を行いました。

### ②子育てを支援する生活環境の整備

#### 【取組内容】

- 教良木保育園及び龍ヶ岳保育園を新築し、妊婦・子ども・育児者が安心安全な環境整備を行いました。また、私立の施設においても、建物の老朽化により改築する予定の園に対し施設整備交付金を交付し、妊婦・子ども・育児者が安心安全に過ごせる環境の整備を行いました。
- 都市整備課において、カントリーパーク花海好の維持管理業務及び施設改修を実施しました。

#### ■環境整備取組内容

| 取組内容         | 実施頻度・時期        |
|--------------|----------------|
| 遊歩道等の除草作業    | 月 8 回程度        |
| 公衆トイレの清掃     | 週 2 回程度        |
| 遊具の安全点検      | 年 1 回          |
| 軽微な修繕        | 随時             |
| 遊歩道転落防止柵改修工事 | 令和 2 年・3 年・5 年 |
| 法面改修工事       | 令和 5 年         |
| 展望台改修工事      | 令和 5 年         |

#### 【課題】

- 既存の施設において、バリアフリー化を推進する必要があります。

## 4. こども・若者の意識から見た課題

### (1) 調査の概要

#### ① 調査の目的

この調査は、計画の策定にあたり、こどもや若者の現状や子育て支援に対する実態・要望等を把握し、計画策定における基礎資料とすることを目的に実施しました。

#### ② 調査の対象、回収数

| 調査対象者                     | 配布数<br>(A) | 回収数<br>(B) | 有効回収数<br>(C) | 有効回収率<br>(C/A) |
|---------------------------|------------|------------|--------------|----------------|
| 市内小学校<br>市内中学校<br>児童・生徒   | 1017       | 785        | 785          | 77.1           |
| 上天草高校の生徒                  | 145        | 110        | 110          | 75.8           |
| 上天草市役所職員<br>(上天草市に関係する若者) | 137        | 95         | 95           | 69.3           |

#### ③ 調査の方法

Web アンケートによる無記名方式

#### ④ 調査期間

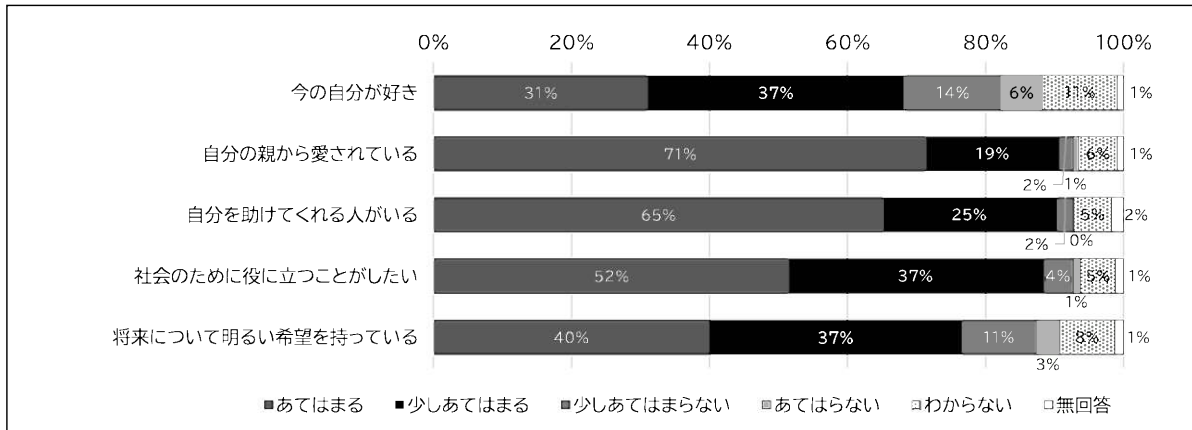
令和6年12月23日(月)～令和7年1月17日(金)

## (2)調査結果 小中学生の調査結果

### ①自分のことについて

○自分に関することについて、「将来へ明るい希望を持っている」「社会のために役立つことがしたい」「自分を助けてくれる人がいる」「自分の親から愛されている」「今の自分が好き」かという問いに対し、約7割が「あてはまる」「少しあてはまる」と回答がありました。

#### ■自分に関すること

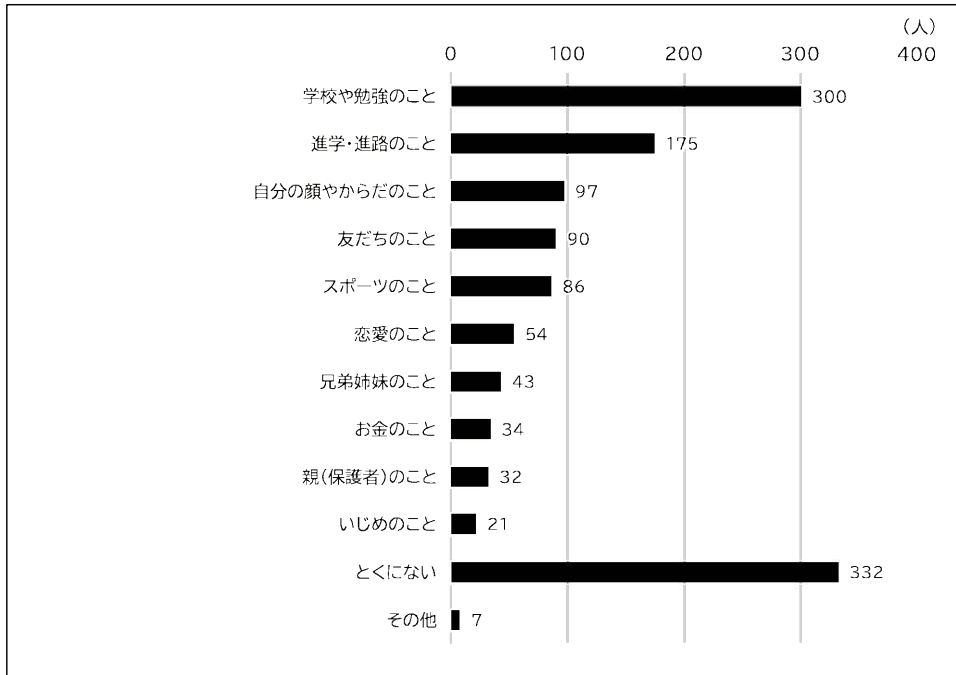


## ②今悩んでいることについて

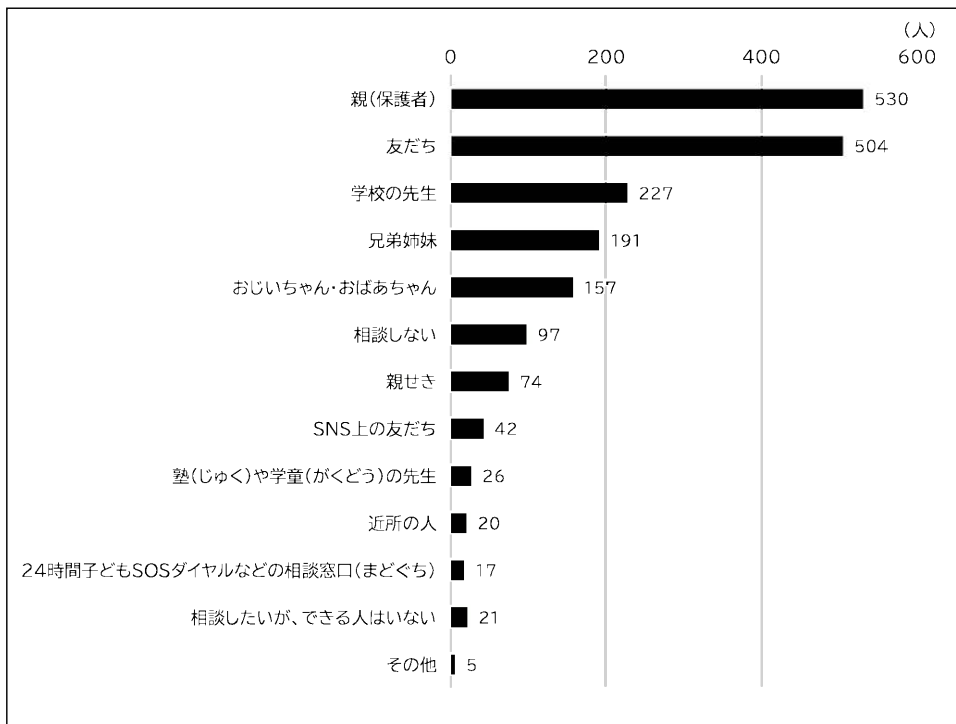
○今悩んでいることについて、「とくにない」が42%と最も多く、次に「学校や勉強のこと」が37%、「進学・進路のこと」が22%、「自分の顔やからだのこと」が12%となっています。

○悩みを相談できる人について、「親（保護者）」が66%で最も多く、次いで「友だち」が63%、「学校の先生」が28%となりました。

### ■今悩んでいること



### ■悩みを相談できる人



### ③学校生活について

○学校生活について、「楽しいと思っている」が 59%、「少し楽しいと思っている」が 34%、計 93%という結果になりました。

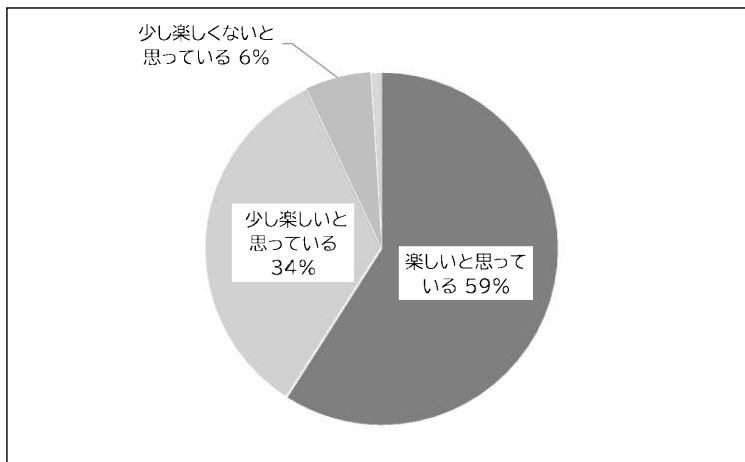
○学校が楽しくない理由について、「学校の勉強がきらいだから」が 51%と最も多く、次いで「授業がおもしろくないと感じるから」が 39%、「友だちとの関係がうまくいっていないから」が 34%となっています。

○学校の授業について、「いつもわかる」「だいたいわかる」が 55%となり、「教科によってわからないことがある」が 39%、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」が6%となりました。

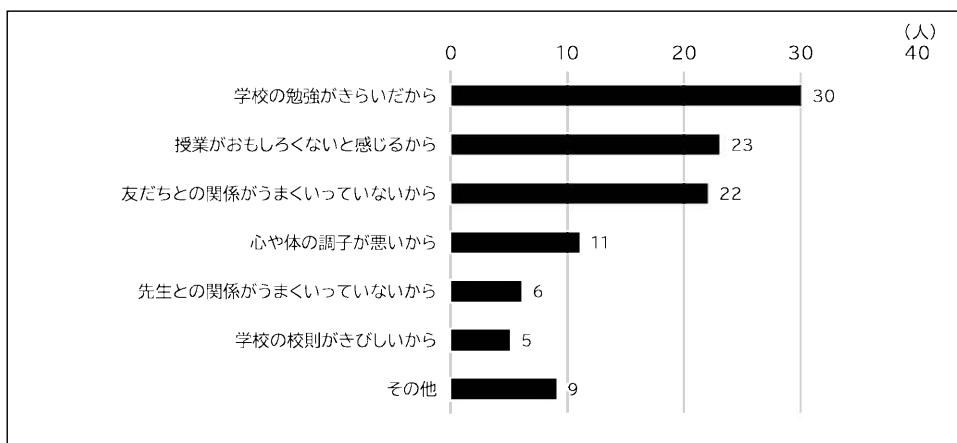
○勉強を教えてもらう人について、「友だち」が74%と最も多く、次に「学校の先生」が54%、「親（保護者）」が50%となりました。

なお、「教えてもらえる人はいない」も2%の回答がありました。

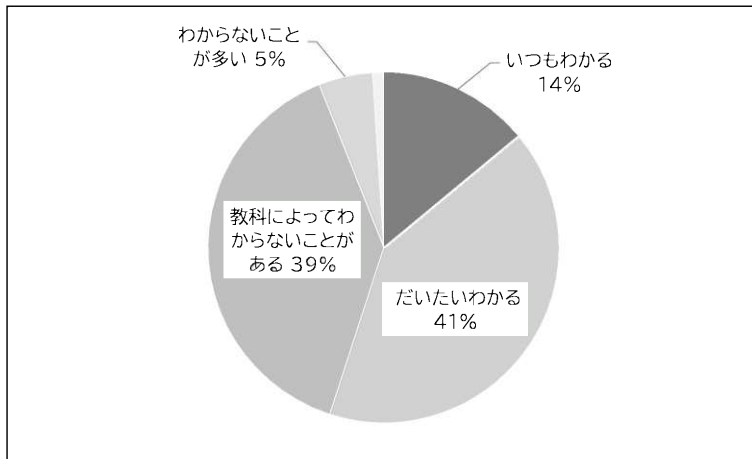
#### ■学校生活について



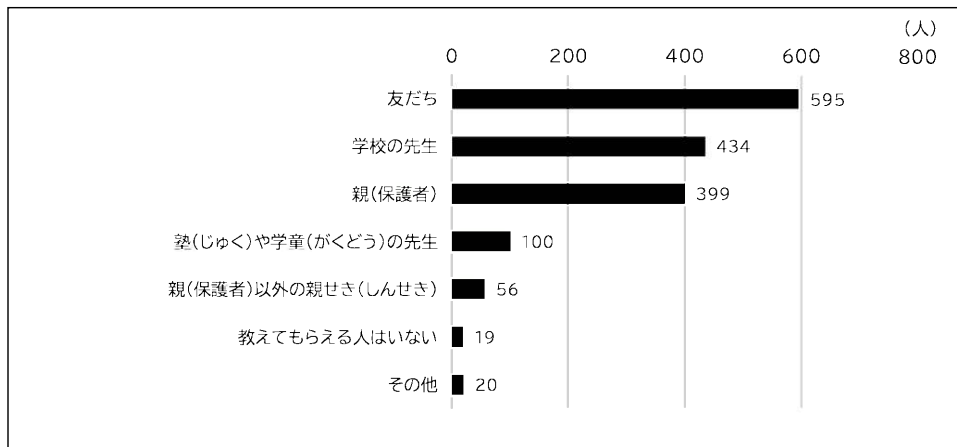
#### ■学校が楽しくない理由 ※複数回答



■学校の授業について

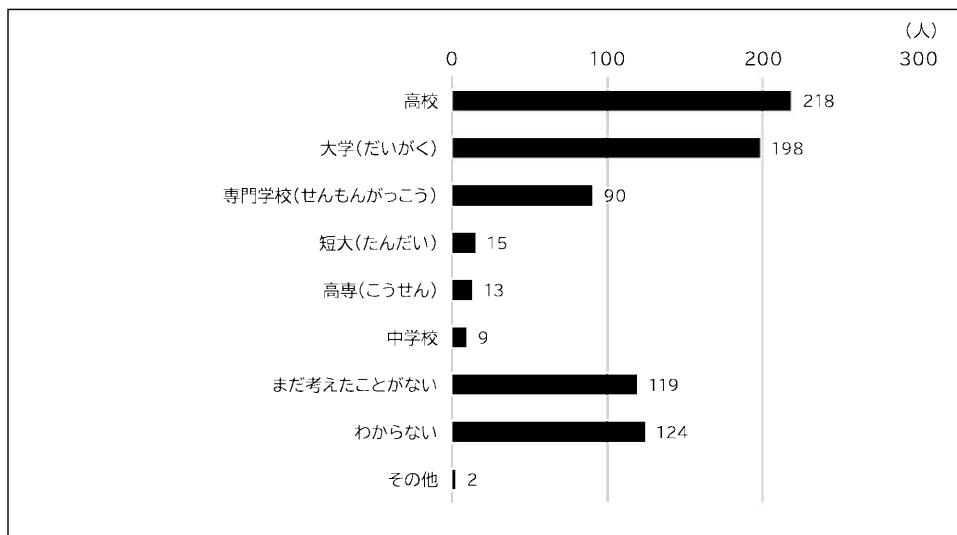


■勉強を教えてもらう人 ※複数回答



○進学希望について、「高校」が26%と最も多く、「大学」が24%、「わからない」が15%となっています。

■進学希望について



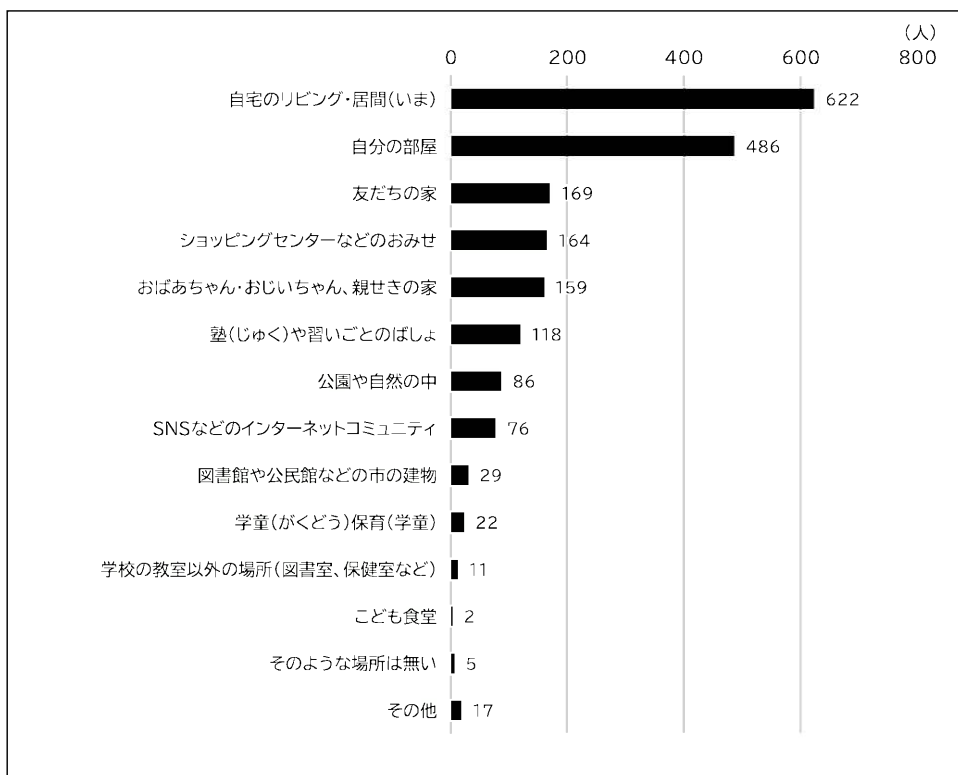
○放課後・休日に過ごす場所について、「自宅のリビング・居間（いま）」が78%と最も多く、次に「自分の部屋」が60%、その他「友だちの家」が21%、「ショッピングセンターなどのおみせ」が20%となっています。

○安心できる場所について、「自宅のリビング・居間（いま）」が最も多く69%、次に「自分の部屋」が65%、「おじいちゃん・おばあちゃん、親せきの家」が28%となっています。

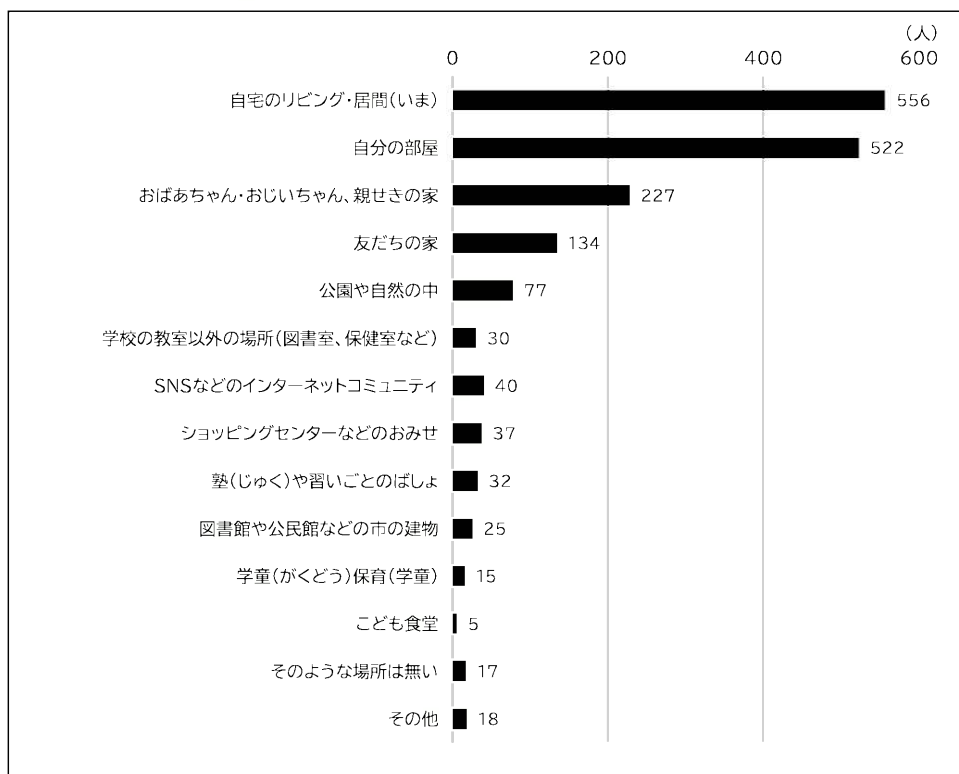
また、「そのような場所はない」と回答した人は2%となっています。

○放課後・休日に行ってみたいところについて、「好きなことをして自由にすごせるところ」が最も多く67%で、次に「いつでも行きたいときにいけるところ」が52%、「1人ですごせたり、なにもせずのんびりできる場所」が39%となっています。「その他」では「猫が多い場所」というところがありました。

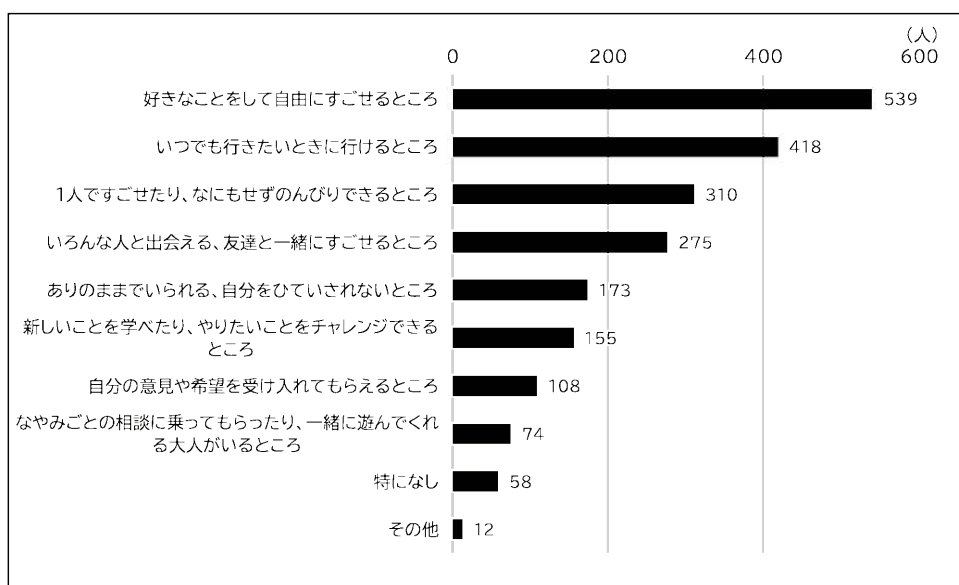
■放課後・休日に過ごす場所 ※複数回答



■安心出来る場所 ※複数回答



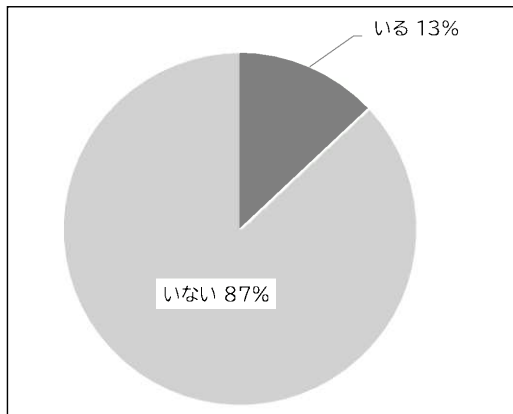
■放課後・休日に行ってみたいところ ※複数回答



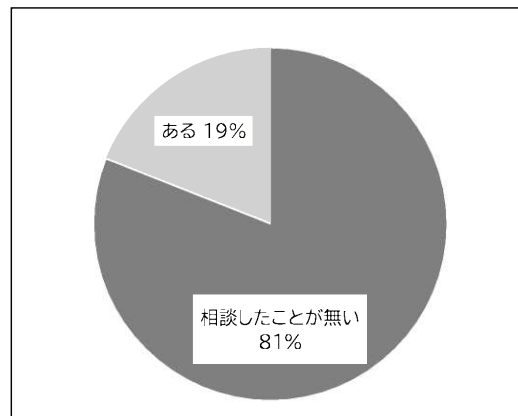
#### ④家族のお世話について

- 家族の中でお世話をしている人の有無について、「お世話している人がいる」と回答した人は、13%でした。
- お世話することにより困ったことがあるかについて、「特にない」が67%と最も多いものの、「眠る時間が足りない」「友達と遊ぶことができない」「自分の時間が取れない」が7%となっています。
- お世話していることを相談した経験について、「相談したことがない」と回答した人が81%となっています。
- ヤングケアラーという言葉の認知について、「知らない」人は73%、「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した人は19%となっています。

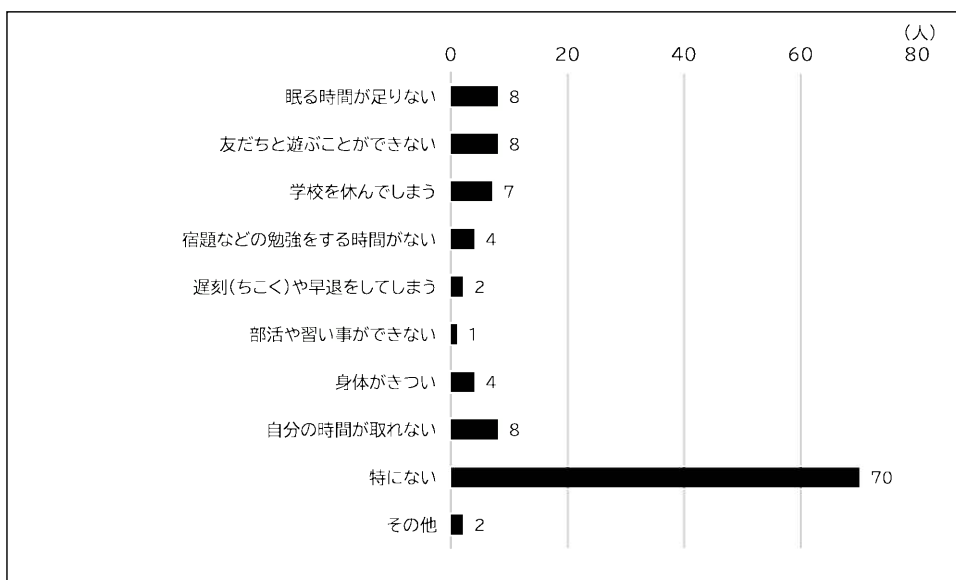
■お世話をしている人がいる



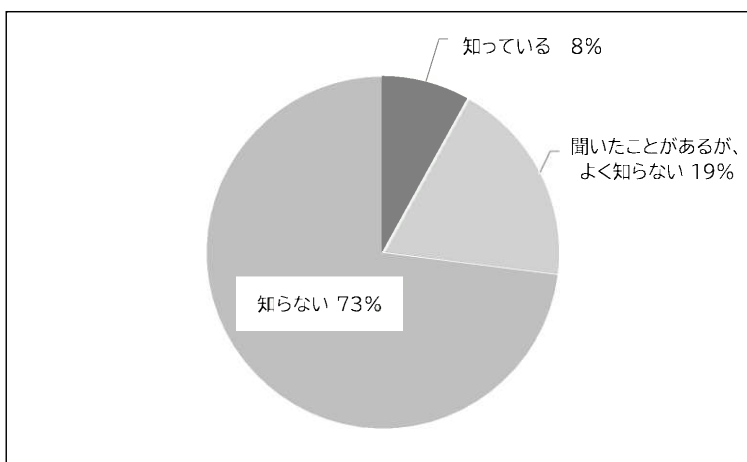
■お世話していることについて相談



■お世話することで困ったこと ※複数回答



■ヤングケアラーという言葉について

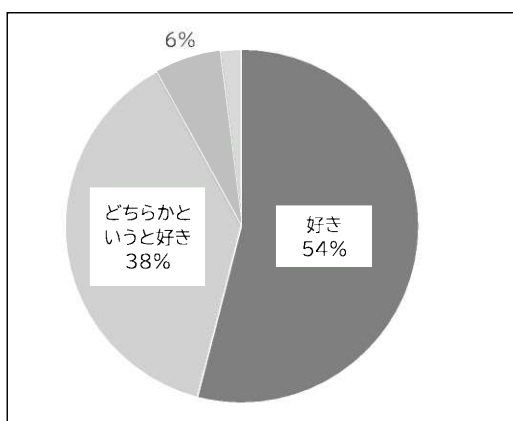


⑤上天草市について

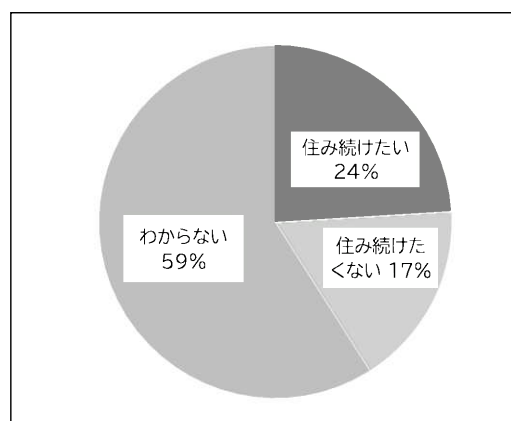
○上天草市が好きかについて、「好き」が54%、「どちらかという好き」が38%と、合わせて92%の人が好きと回答しています。

○大人になってからも上天草市に住みたいかについて、「住みたい」が24%、「住みたくない」が17%、「わからない」が59%となっています。

■上天草市が好き



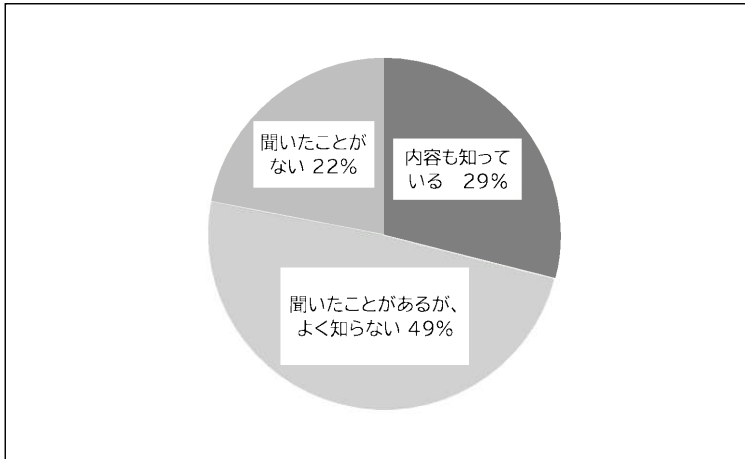
■大人になってからも住みたい



## ⑥こどもの権利について

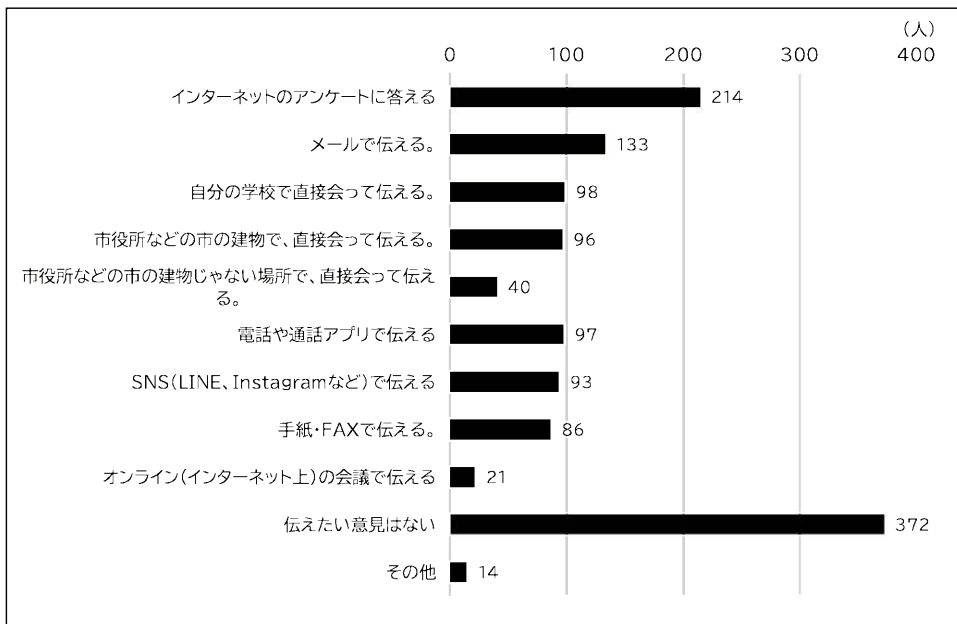
○「こどもの権利」を知っているかについて、「聞いたことがあるが、よく知らない」が49%と最も多く、次に「内容も知っている」が29%、「聞いたことがない」22%となっています。

### ■こどもの権利について



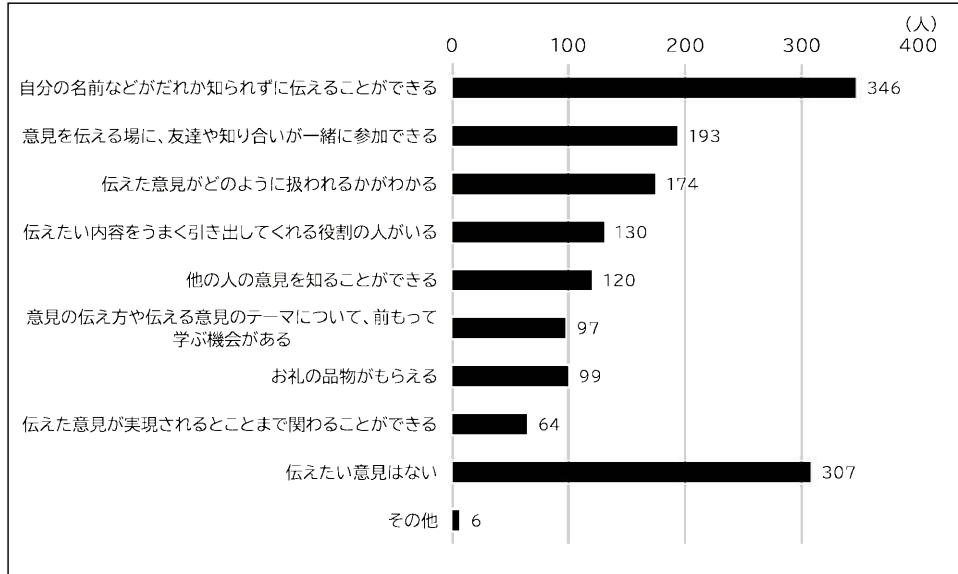
○意見を伝える手段について、「インターネットのアンケートに答える」が27%と最も多く、次に「メールで伝える。」が16%、「自分の学校で直接会って伝える。」「電話や通話アプリで伝える」「市役所などの市の建物で、直接会って伝える。」の順となっています。

### ■意見を伝える手段 ※複数回答



○意見を伝えるためあれば良いと思うルールについて、「自分の名前などがだれか知られずに伝えることができる」が43%で最も多く、「意見を伝える場に、友達や知り合いと一緒に参加できる」が24%、「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」が22%となっています。

■意見を伝えるためのルール ※複数回答

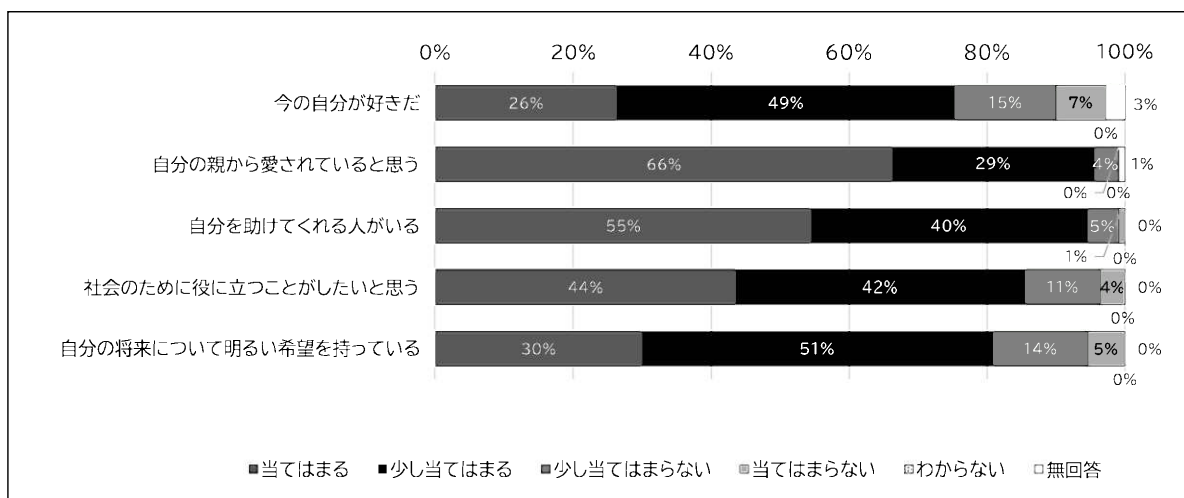


### (3)調査結果 高校生への調査結果

#### ①自分のことについて

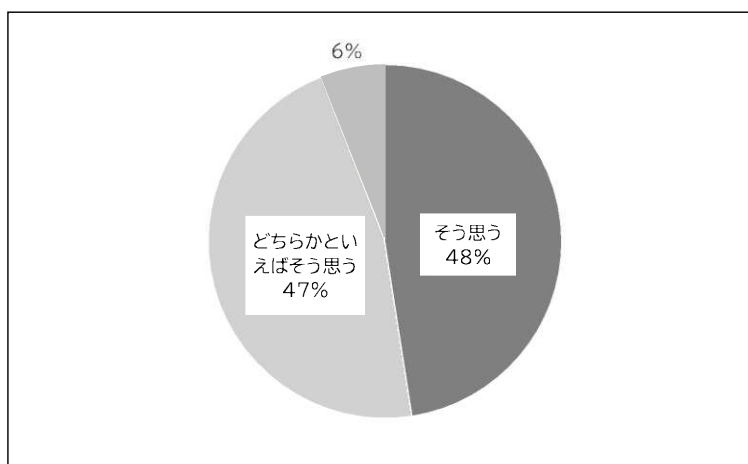
- 「今の自分が好きだ」と回答した人は、「当てはまる」「少し当てはまる」を合わせて75%でした。
- 「自分の親から愛されていると思う」と思う人は、95%でした。
- 「自分を助けてくれる人がいる」と思う人は95%でした
- 「社会のために役立つことをしたいと思う」と思う人は86%でした。
- 「自分の将来について明るい希望を持っている」と思う人は81%でした。

#### ■自分のことについて思うこと



○あなたは今幸せだと思うかについて、「そう思う」と回答した人は48%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」と回答した人は47%となっています。

#### ■あなたは今幸せか

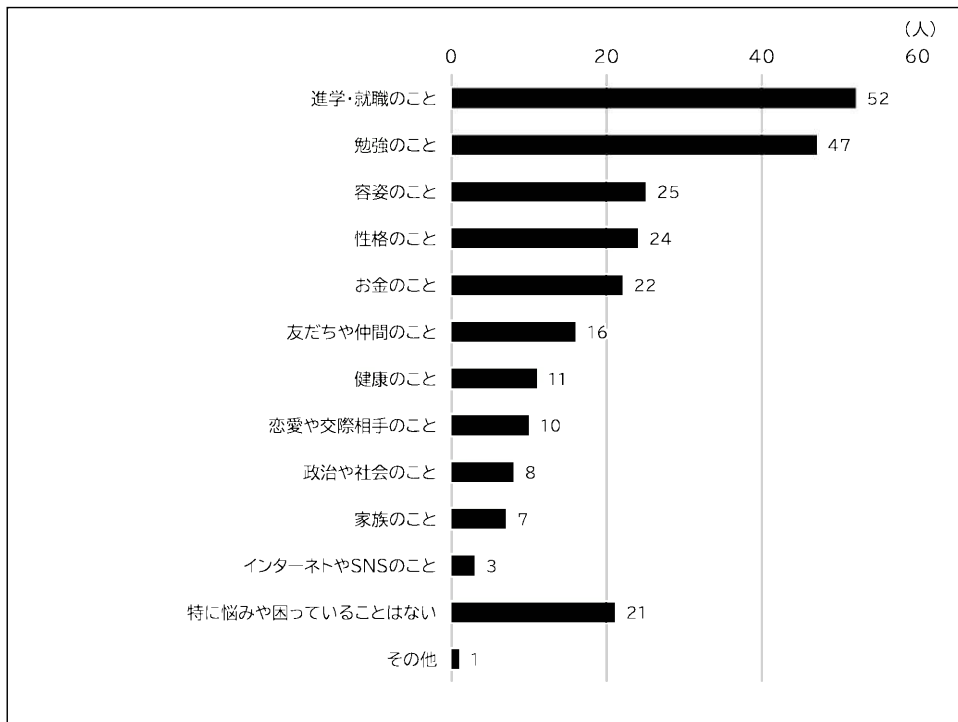


○今悩んでいることについて、「進学・就職のこと」が47%と最も多く、その次に「勉強のこと」が42%、「容姿のこと」が22%となっています。

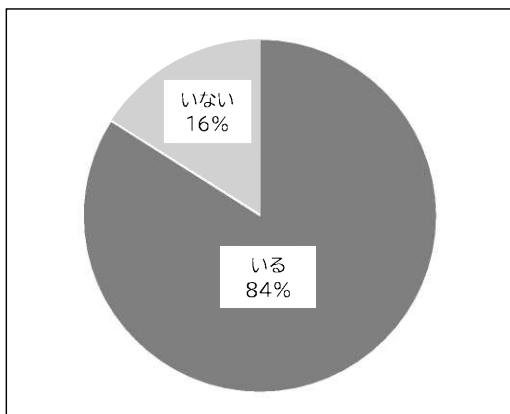
○悩みを聞いてくれる人の有無について、「いる」と回答した人は84%となっています。

○悩みを聞いてくれる人について、「友達」が71%と最も多く、次に「親」が57%、「学校の先生」が25%となっています。

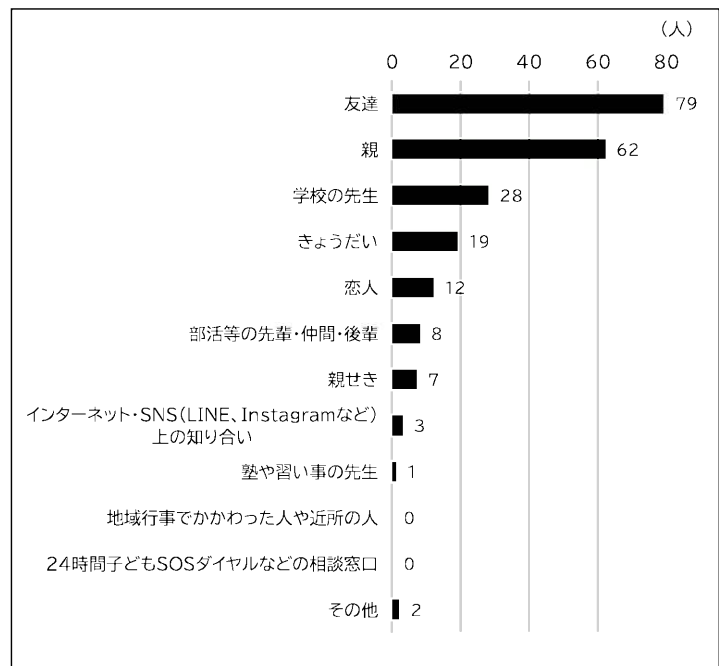
■今悩んでいること ※複数回答



■悩みを聞いてくれる人の有無



■悩みを聞いてくれる人について ※複数回答

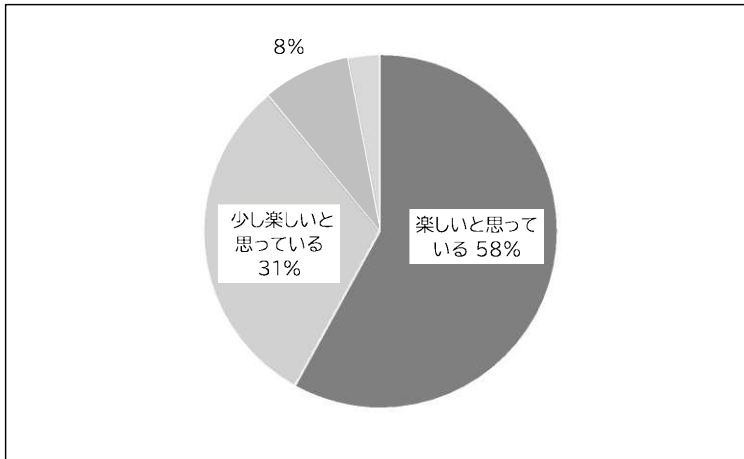


## ②学校生活について

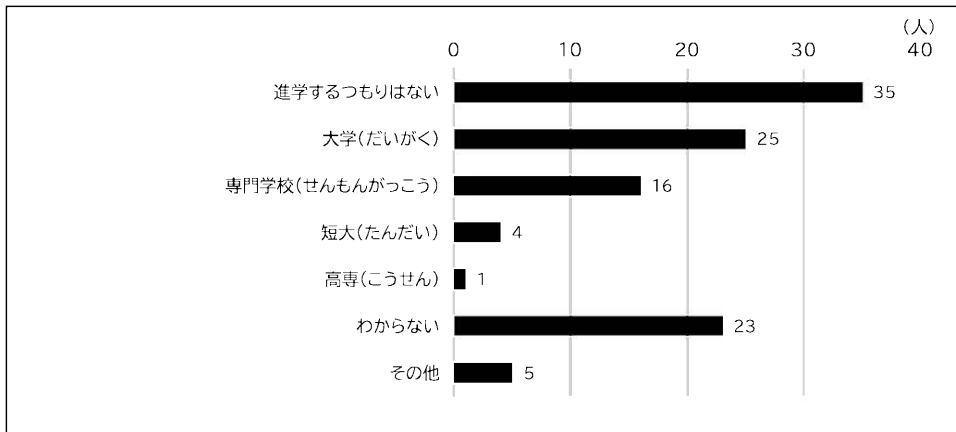
○学校生活は楽しいかについて、「楽しいと思っている」が 58%、「少し楽しいと思っている」が 31%と、9 割近くが楽しいと感じていると回答がありました。

○今後の進学について、「進学するつもりはない」が 31%と最も多く、次に「大学」が 22%、「わからない」が 20%となっています。

### ■学校生活は楽しいか



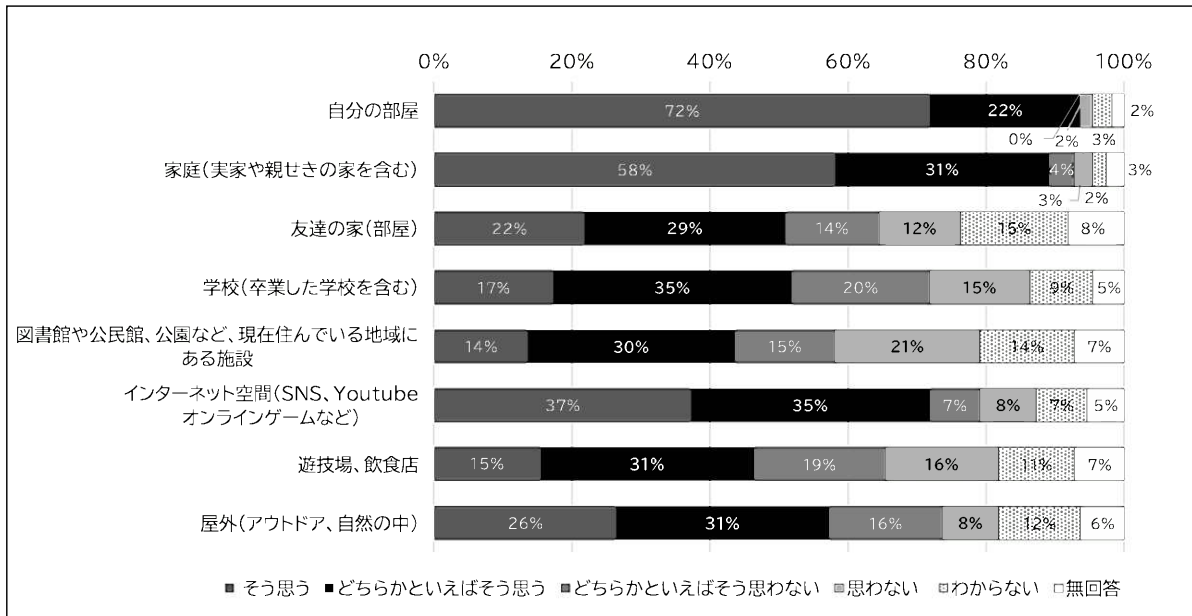
### ■進学について ※複数回答



### ③自分の居場所について

○自分がほっとできる場所、居心地の良い場所について、「自分の部屋」が94%と最も多く、次に「家庭（実家や親せきの家を含む）」が89%となっています。

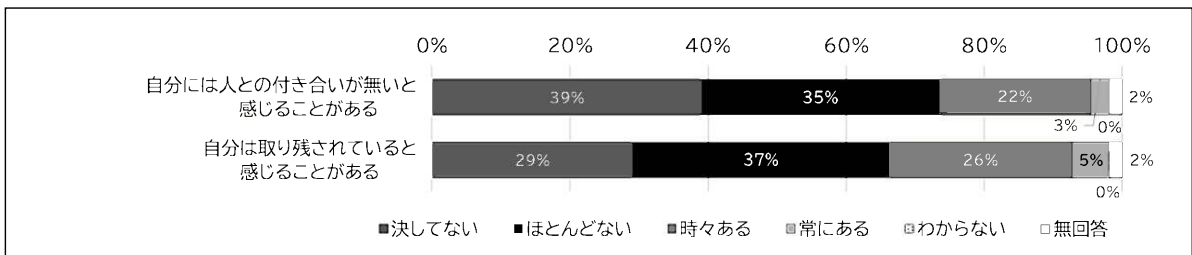
#### ■自分がほっとできる場所、居心地の良い場所について



○孤独感について、「自分には人との付き合いが無いと感じることがある」について、「決してない」「ほとんどない」という回答は74%となっています。一方、「時々ある」「常にある」という回答は25%となっています。

○「自分は取り残されていると感じることがある」について、「決してない」「ほとんどない」という回答は66%となっています。一方、「時々ある」「常にある」という回答は31%となっています。

#### ■孤独感について



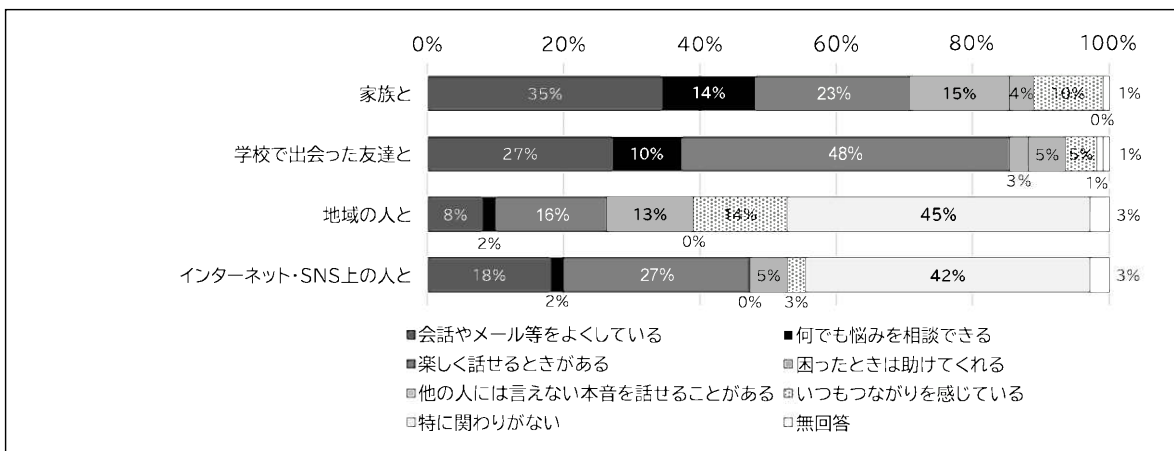
○家族や友達、地域の人、インターネット上の人とのかかわりについて、家族とは「会話やメール等をよくしている」が35%、「楽しく話せるときがある」が23%、「困ったときは助けてくれる」が15%となっています。

○友達とのかかわりについて、「会話やメール等をよくしている」が27%、「楽しく話せるときがある」が48%、「なんでも悩みを相談できる」が10%となっています。

○地域の人とのかかわりについて、「楽しく話せるときがある」が16%である一方、「特に関わりが無い」が45%となっています。

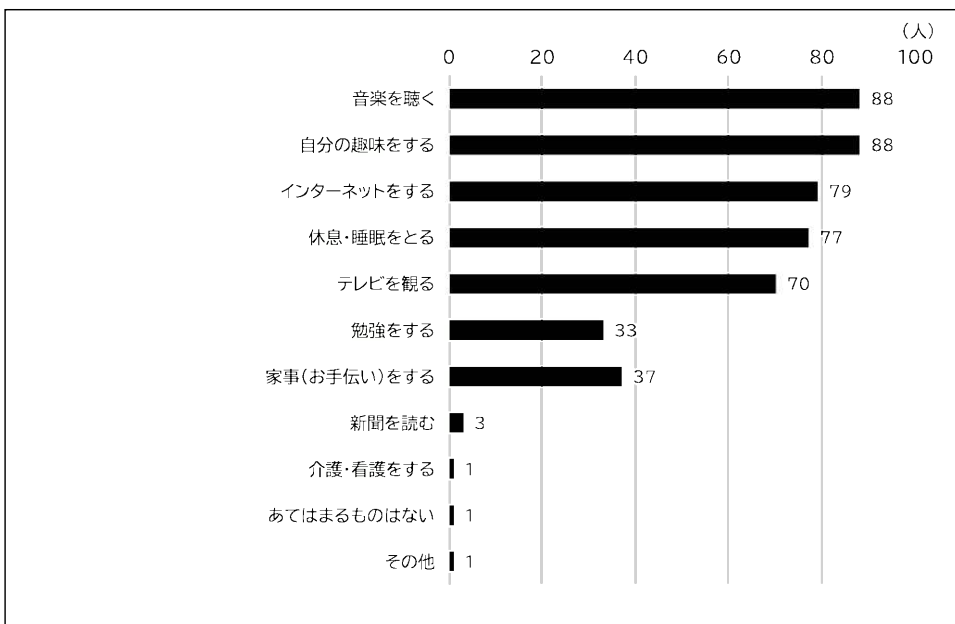
○インターネット上の人とのかかわりについて、「楽しく話せるときがある」が27%である一方、「特に関わりが無い」が42%となっています。

■他の人とのかかわりについて



○普段自宅で行っていることについて、「音楽を聴く」「自分の趣味をするが」が80%と最も多く、「インターネットをする」が71%、「休息をとる」が70%となっています。

■普段自宅で行っていること ※複数回答

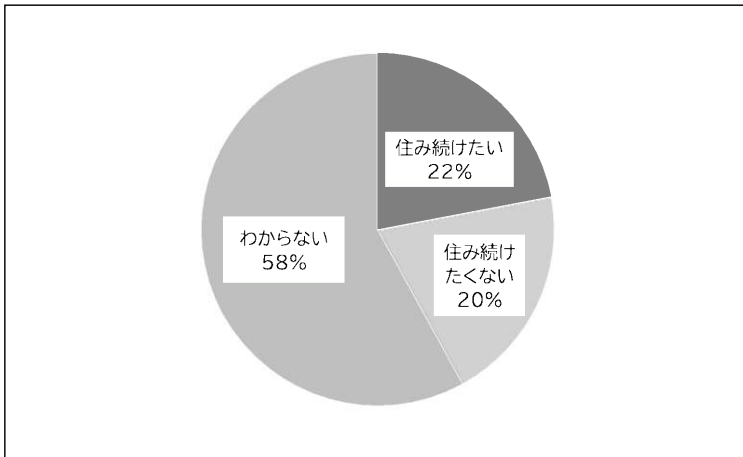


#### ④上天草市について

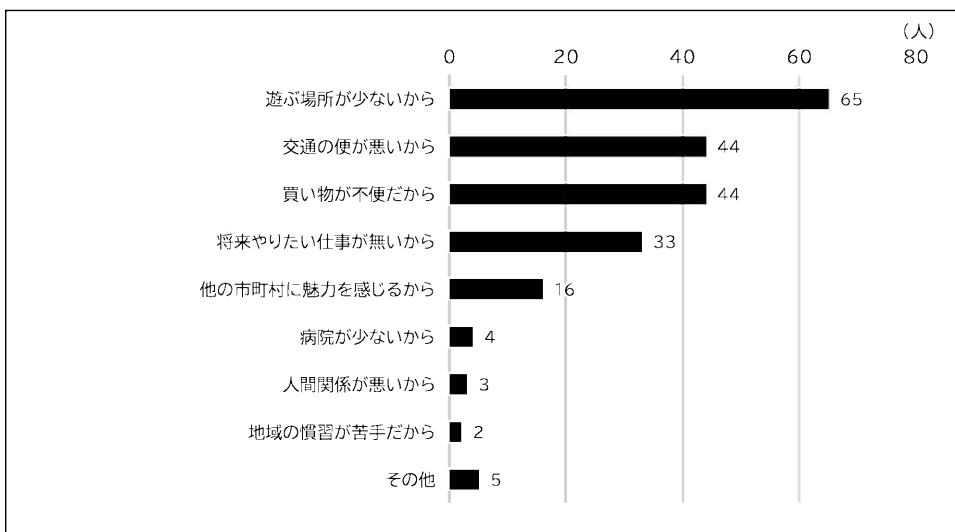
○上天草市に大人になっても住みたいかという問いに対し、「住みたい」が22%、「住み続けたくない」が20%、「わからない」が58%となっています。

○住み続けたくない、どちらともいえない理由として、「遊ぶ場所が少ないから」が59%と最も多く、次に「交通の便が悪いから」「買い物が不便だから」が40%、「将来やりたい仕事が無いから」が33%となっています。

#### ■大人になっても住みたい

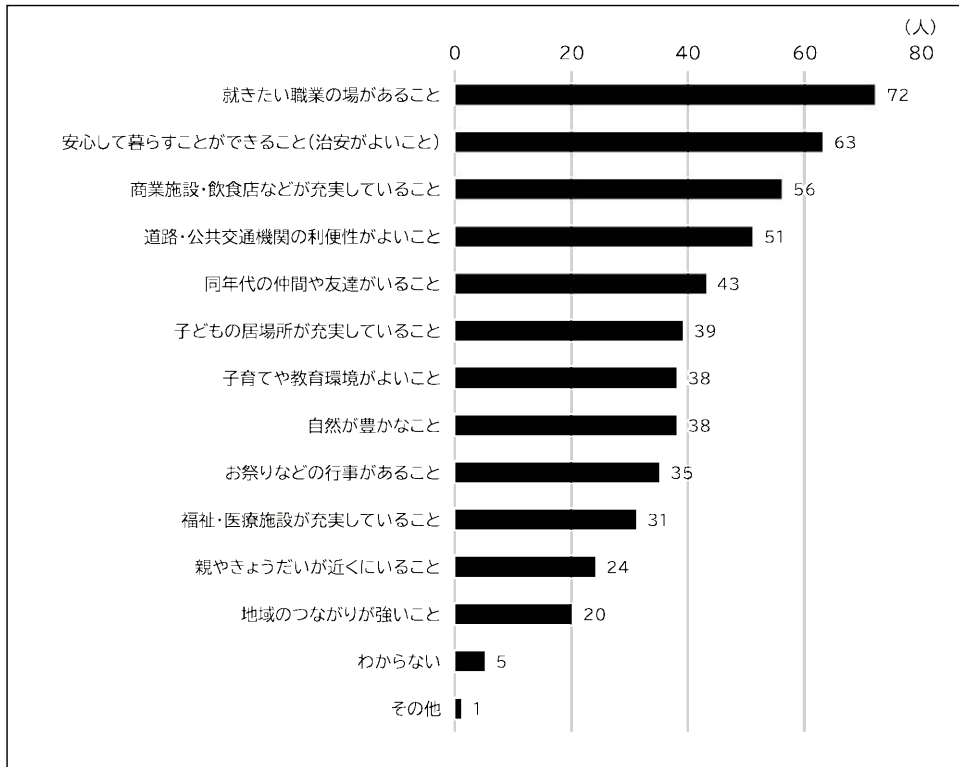


#### ■住み続けたくない、どちらともいえない理由 ※複数回答



○上天草市で暮らしていくため重要だと思うことについて、「就きたい職業の場があること」が65%と最も多く、次に「安心して暮らすことができること(治安がよいこと)」が57%、「商業施設・飲食店などが充実していること」が50%、「道路・公共交通機関の利便性がよいこと」が46%となっています。

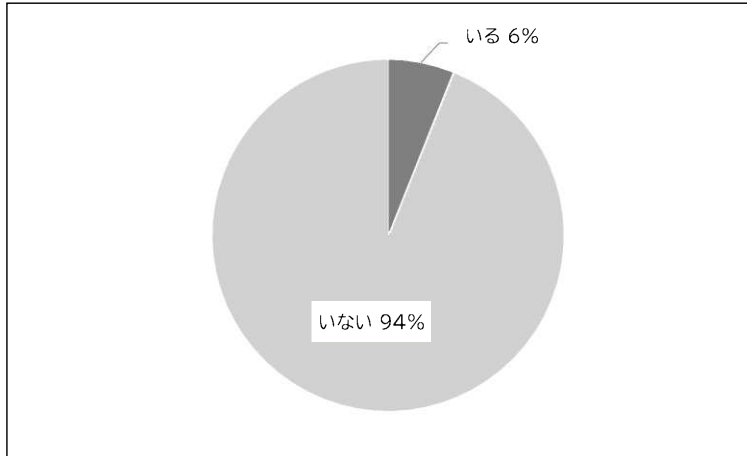
■上天草市で暮らしていくために重要だと思うこと ※複数回答



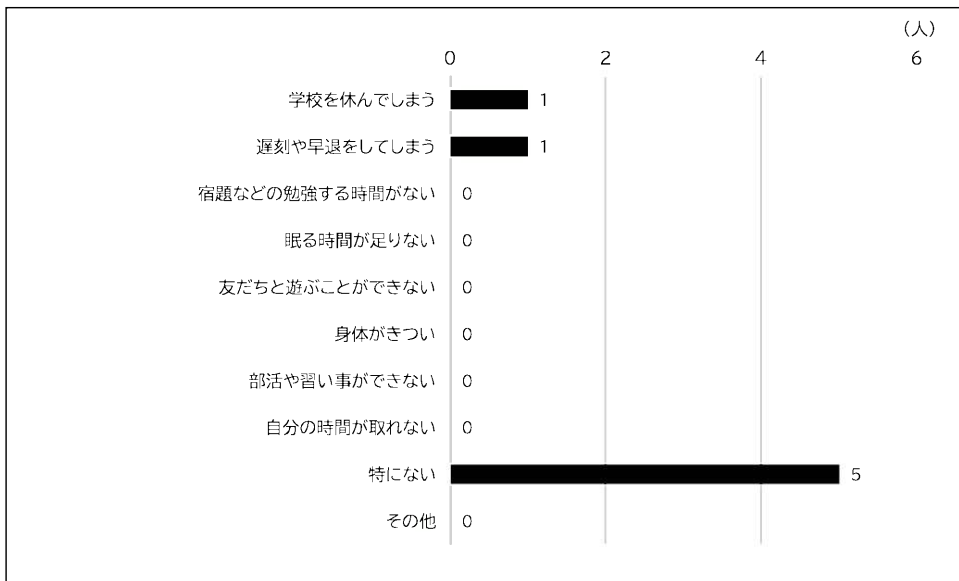
### ⑤お世話をしている人について

○お世話している人の有無について、「お世話している人がいる」と回答した人は6%でした。  
○お世話することによって「学校を休んでしまう」「遅刻や早退をしてしまう」と回答した人は16%でした。

#### ■お世話している人がいるか



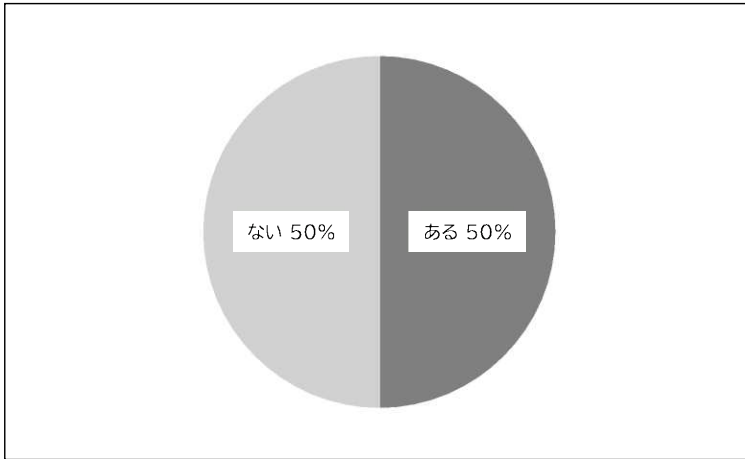
#### ■お世話することで困ったこと



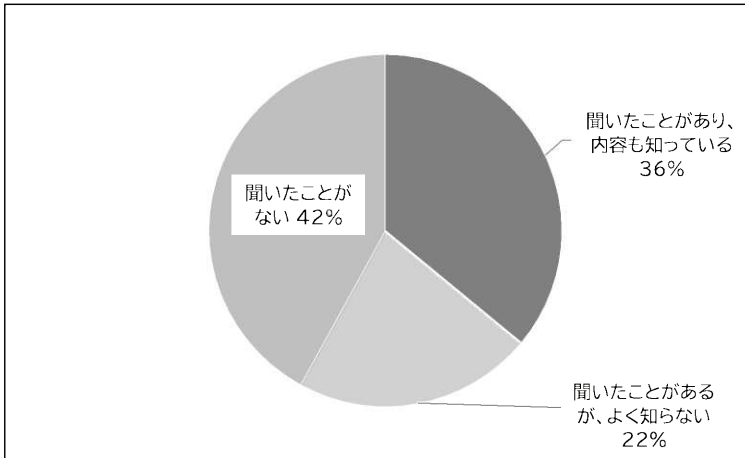
○お世話していることを相談したことについて、「相談したことがある」人と「相談したことがない」人は半数ずつでした。

○ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した人は 36%でした。一方「聞いたことがあるが、よく知らない」が 22%、「聞いたことがない」と回答した人は 42%でした。

■お世話することを相談したことがあるか



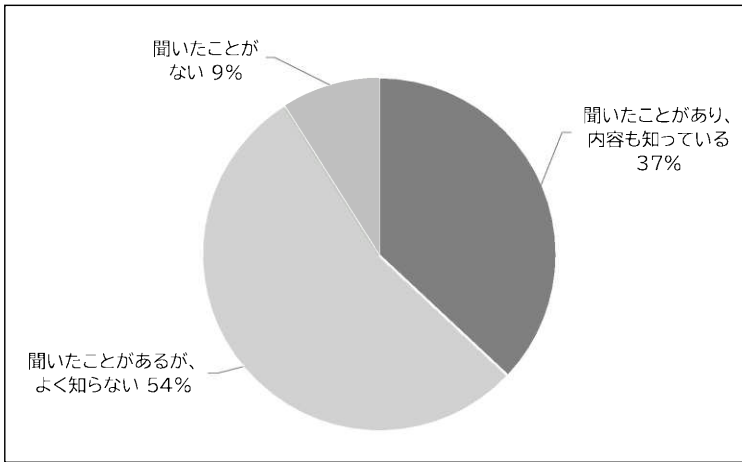
■ヤングケアラーについて



## ⑥こどもの権利について

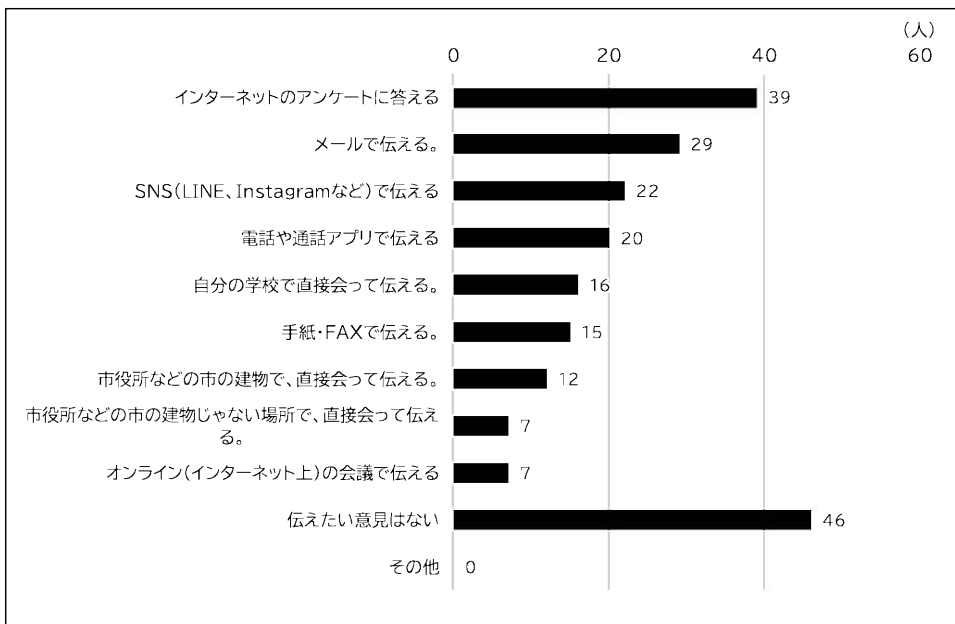
○こどもの権利の認知について、「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した人は 37% でした。また「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した人は 54% でした。

### ■こどもの権利について



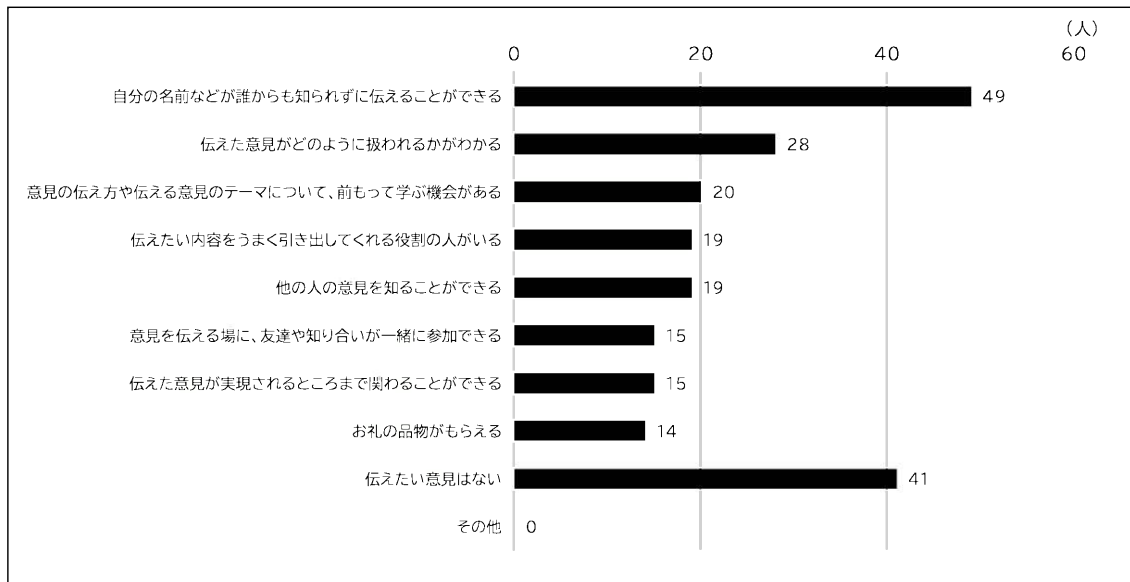
○意見を表明する方法について、「インターネットのアンケートに答える」が 35%と最も多く、次に「メールで伝える」が 26%、「SNS（LINE、Instagram など）で伝える」が 20%となっています。

### ■意見を表明する方法 ※複数回答



○意見を表明する工夫について、「自分の名前などが誰からも知られずに伝えることができる」が44%と最も多く、次に「意見の伝え方や伝える意見のテーマについて、前もって学ぶ機会がある」が25%、「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」が25%となっています。

■意見を表明する工夫 ※複数回答

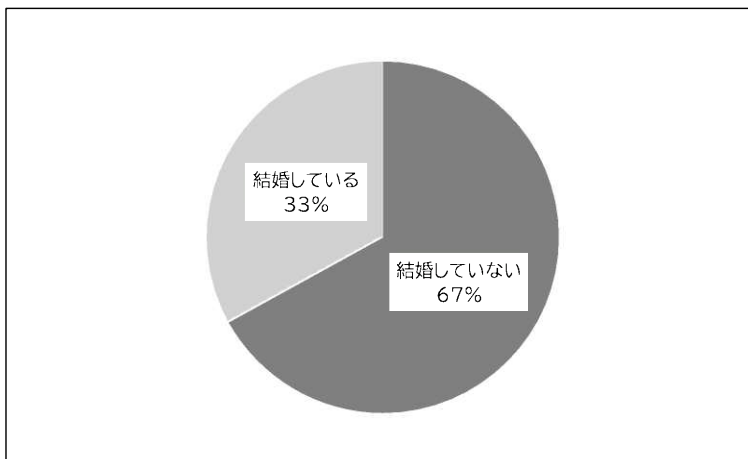


#### (4)調査結果 若者の調査結果

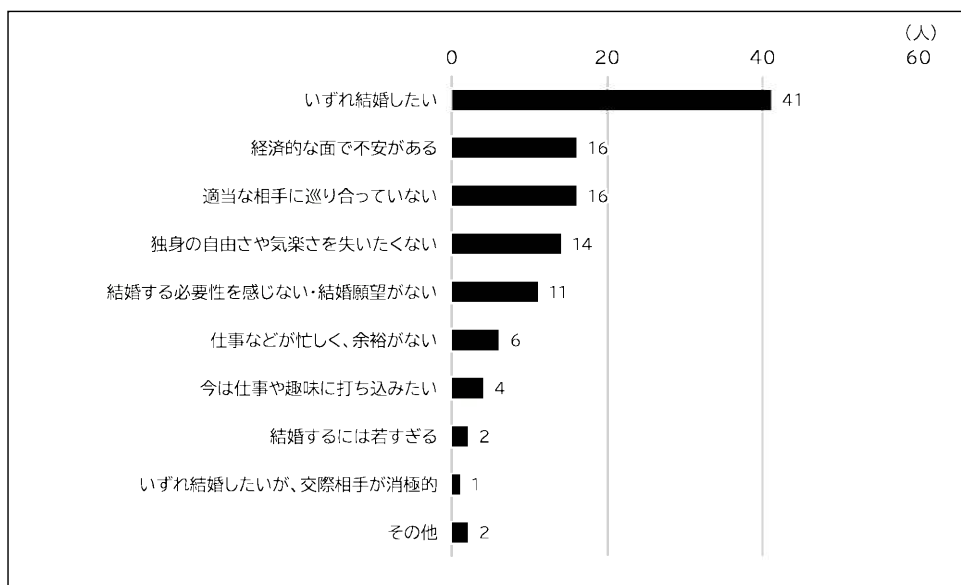
##### ①あなたの生活について

○婚姻状況について「結婚していない」人が67%、「結婚している」が33%となっています。  
○結婚に対する気持ちについて、「いずれ結婚したい」が最も多く、次に「経済的な面で不安がある」「適当な相手に巡り合っていない」、「独身の自由さや気楽さを失いたくない」となっています。

##### ■婚姻状況

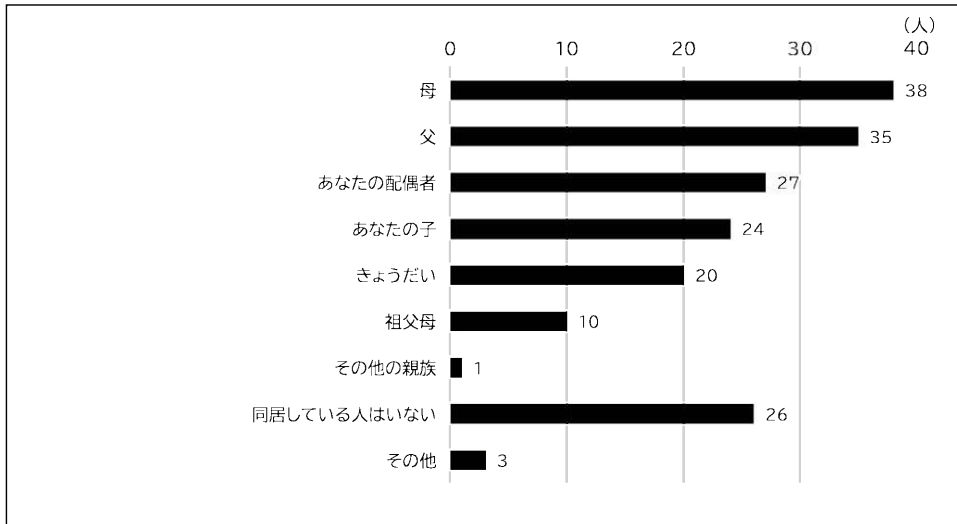


##### ■結婚に対する気持ちについて ※複数回答

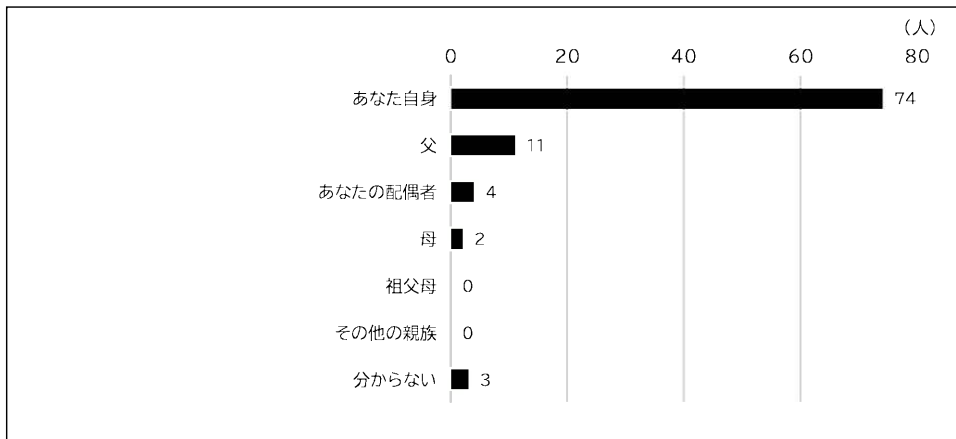


○同居者について、「母」が最も多く、次に「父」、「あなたの配偶者」となっていますが、「同居している人はいない」も27%となっています。  
 ○生計を維持する人について、「あなた自身」が77%と最も多くなっています。

■同居者 ※複数回答



■生計を維持する人 ※複数回答

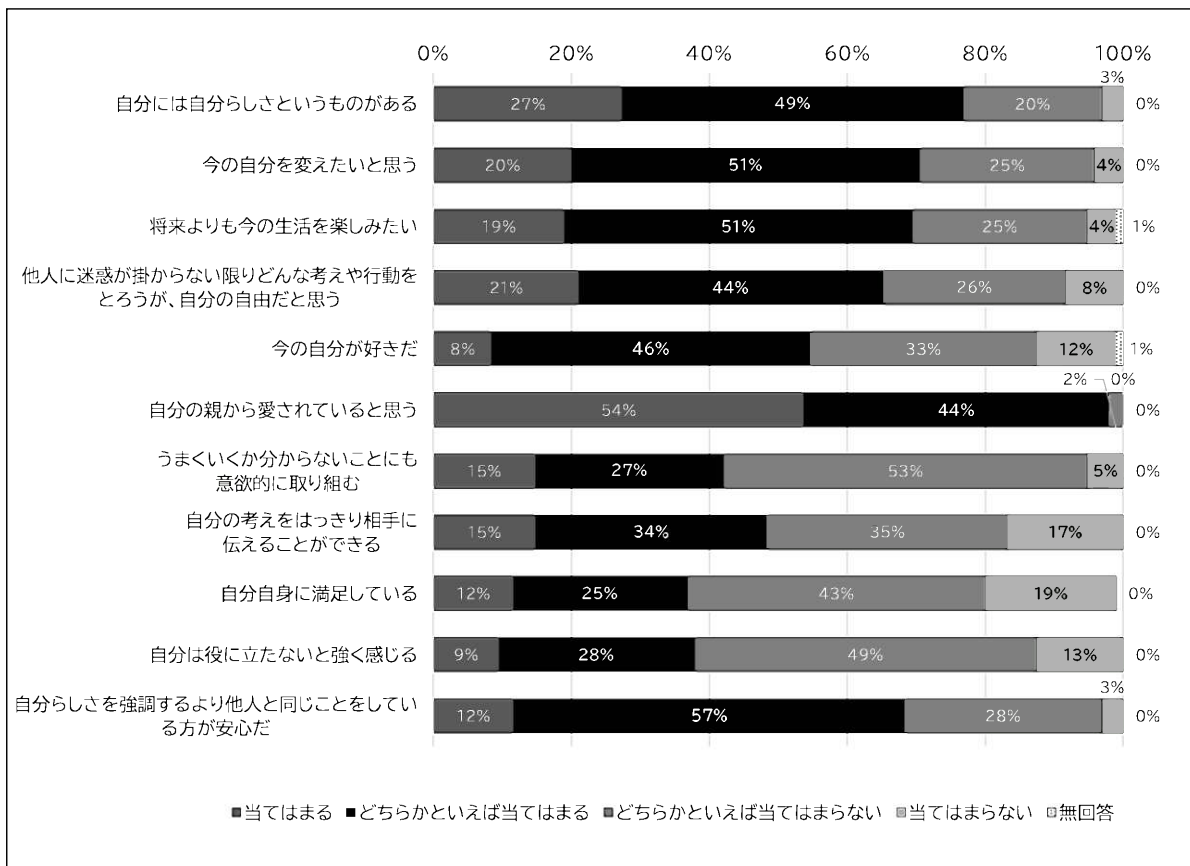


## ②自分のことについて

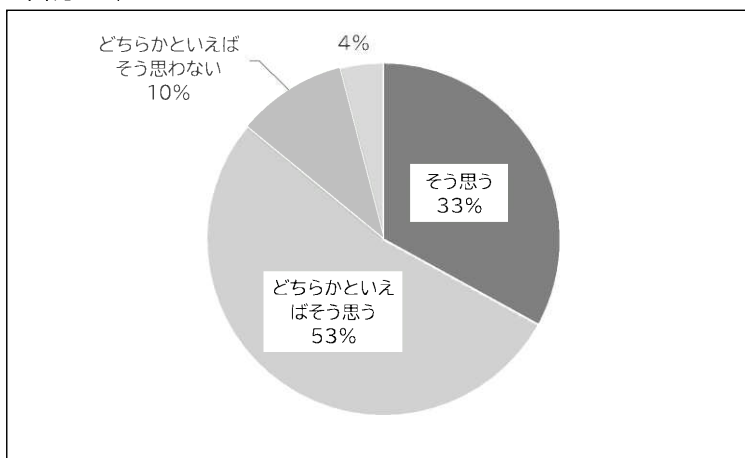
○自分自身のことについて、「自分の親から愛されていると思う」と回答した人が最も多く、一方で「自分は役に立たないと強く感じる」と回答した人は37%となっています。

○今、幸せかという質問に対し、「どちらかといえばそう思う」が53%と最も多く、「そう思う」が33%、「どちらかといえば、そう思わない」が10%となっています。

### ■自分自身のことについて

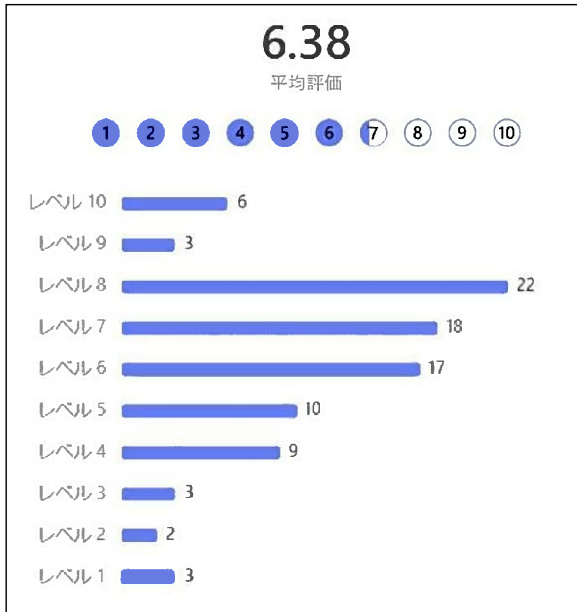


### ■今、自分は幸せか



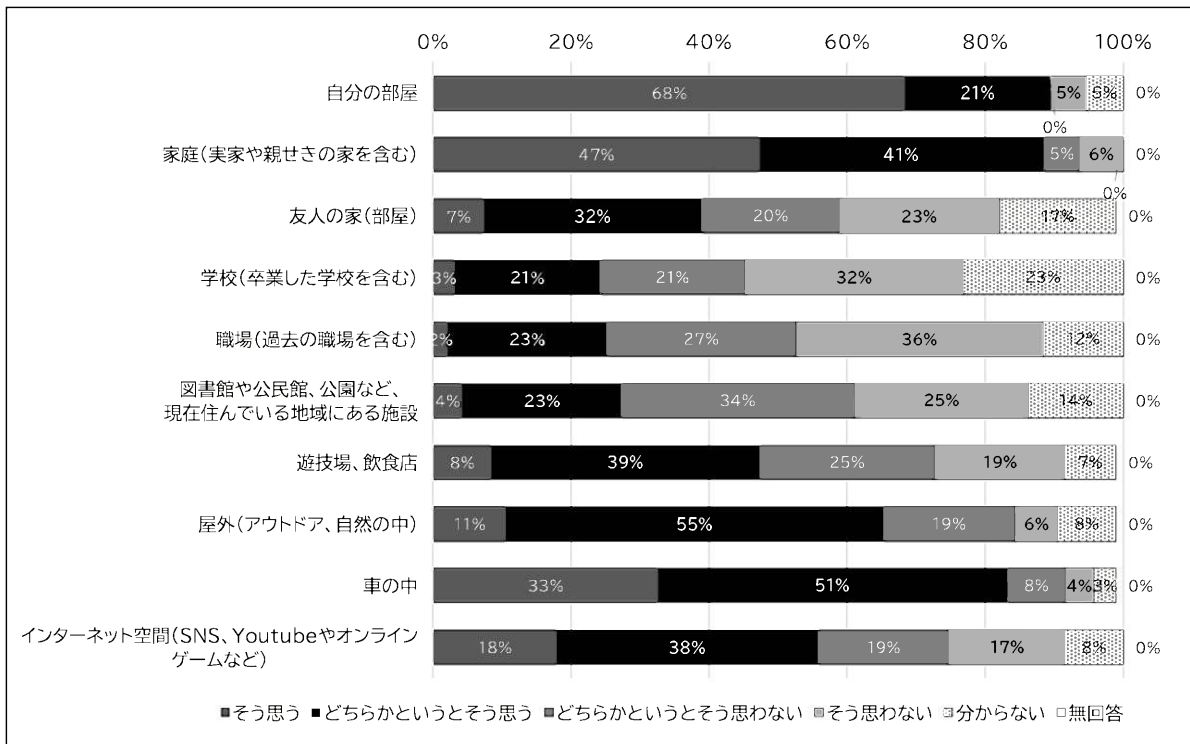
○生活への満足度の平均は、10段階中「6.38」となっています。

■生活への満足度



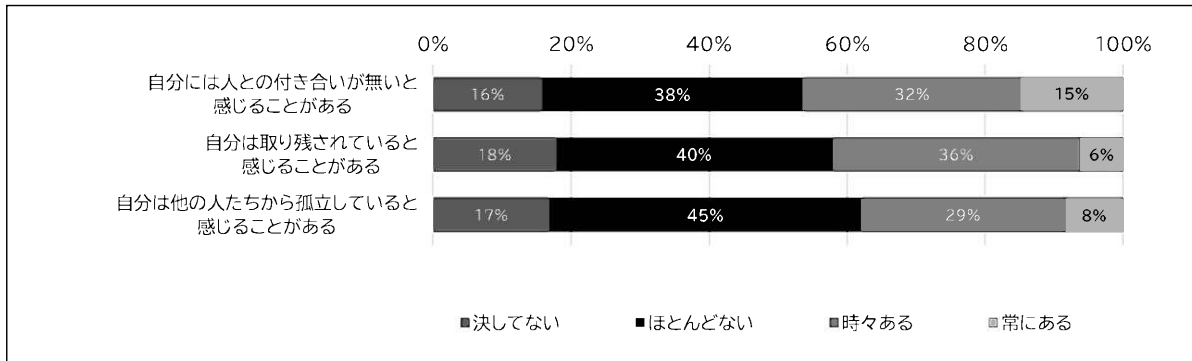
○ほっとできる場所、居心地の良い場所について、「自分の部屋」と回答した人が89%と最も多く、次に「家庭（実家や親せきの家を含む）」が88%、「車の中」が84%となっています。

■ほっとできる場所、居心地の良い場所

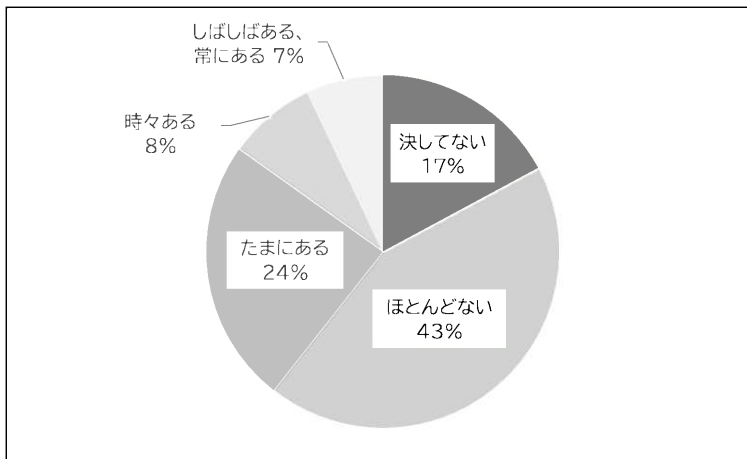


○自分には人との付き合いが無いと感じることがあると回答した人は47%となっています。  
 ○自分は取り残されていると感じることがある、と回答した人は42%となっています。  
 ○自分は他の人たちから孤立していると感じることがある、と回答した人は37%となっています。  
 ○孤独感について、「ほとんどない」が43%、次に「決してない」が17%となっていますが、  
 「たまにある」「時々ある」「しばしばある、常にある」と回答した人も39%になっています。  
 総じて約3割～4割が、孤独感を感じていると回答がありました。

■ 次のことについて当てはまるか



■ 孤独感を感じるか



### ③他の人とのかかわりについて

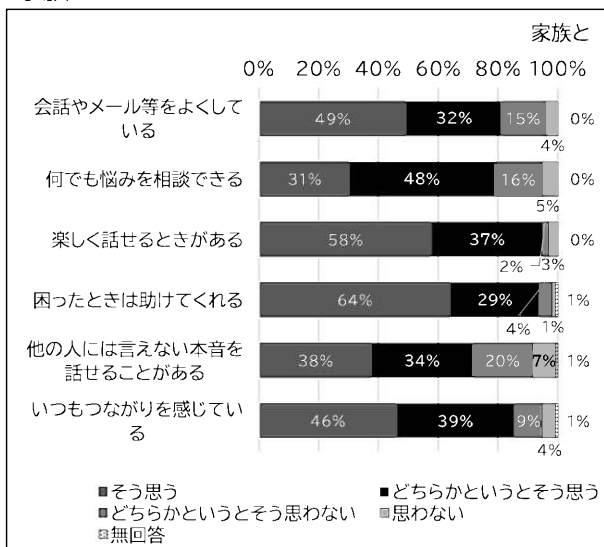
○家族とのかかわりについて、「楽しく話せるときがある」と回答した人が95%、「困ったときは助けてくれる」と回答した人が92%となっています。

そのほかの項目でも、約8割の人がかかわりを持っている結果となっています。

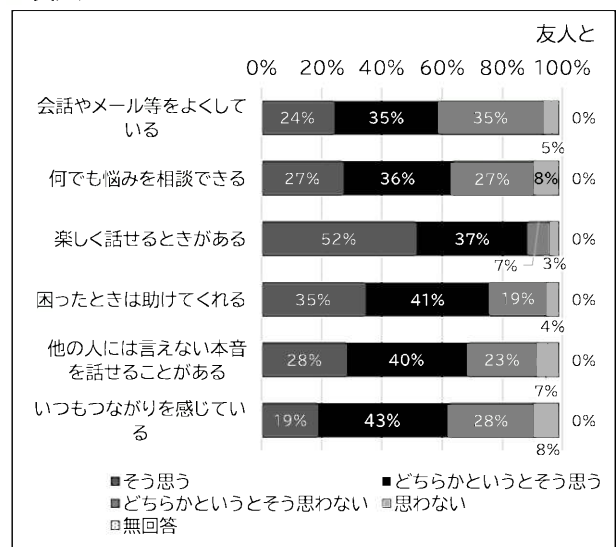
○友人とのかかわりについて、「楽しく話せるときがある」と回答した人が90%、「困ったときは助けてくれる」と回答した人が76%と、多い結果となっています。

○職場の人とのかかわりについて、「楽しく話せるときがある」と回答した人が87%、「困ったときは助けてくれる」と回答した人が84%と多い結果となっています。

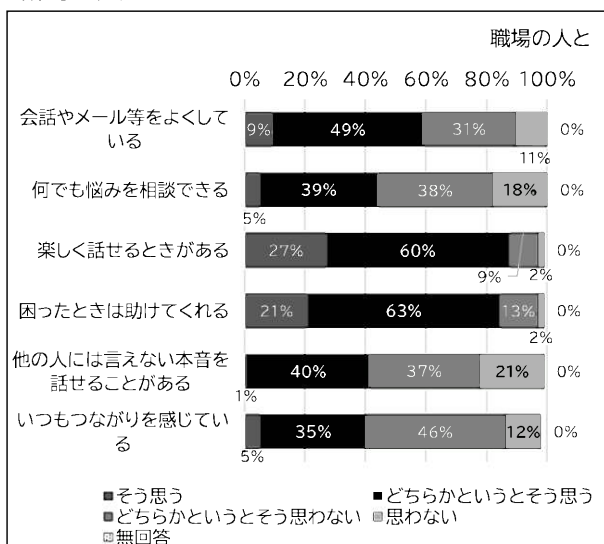
#### ■家族とのかかわり



#### ■友人とのかかわり



#### ■職場の人とのかかわり

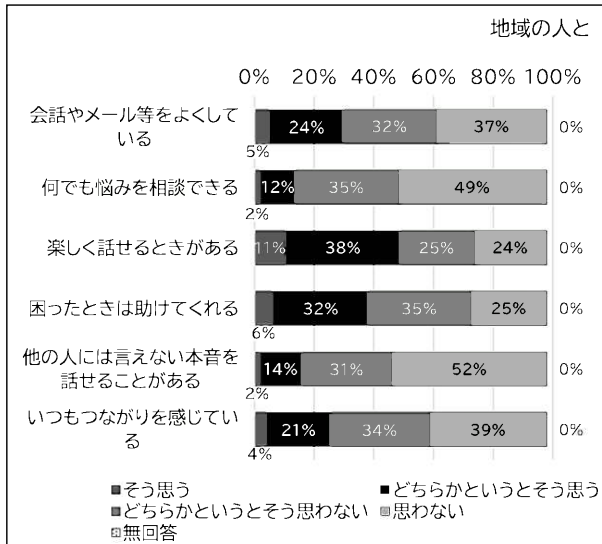


○地域の人とのかかわりについて、「どちらかというと思わない」「そう思わない」と回答した人が多い結果となっています。

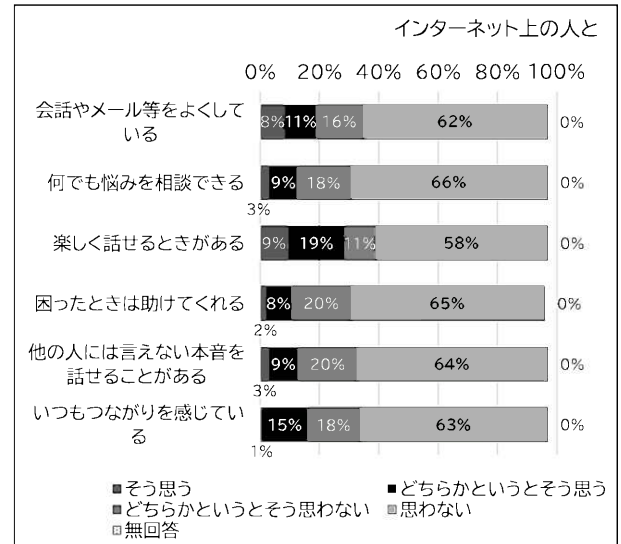
○インターネット上の人とのかかわりについて、「どちらかというと思わない」「そう思わない」と回答した人が多い結果となっています。

○他の人とのかかわり方について、「その場にあった行動をとれる」と回答した人が77%、「表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」と回答した人が75%と多くなっています。

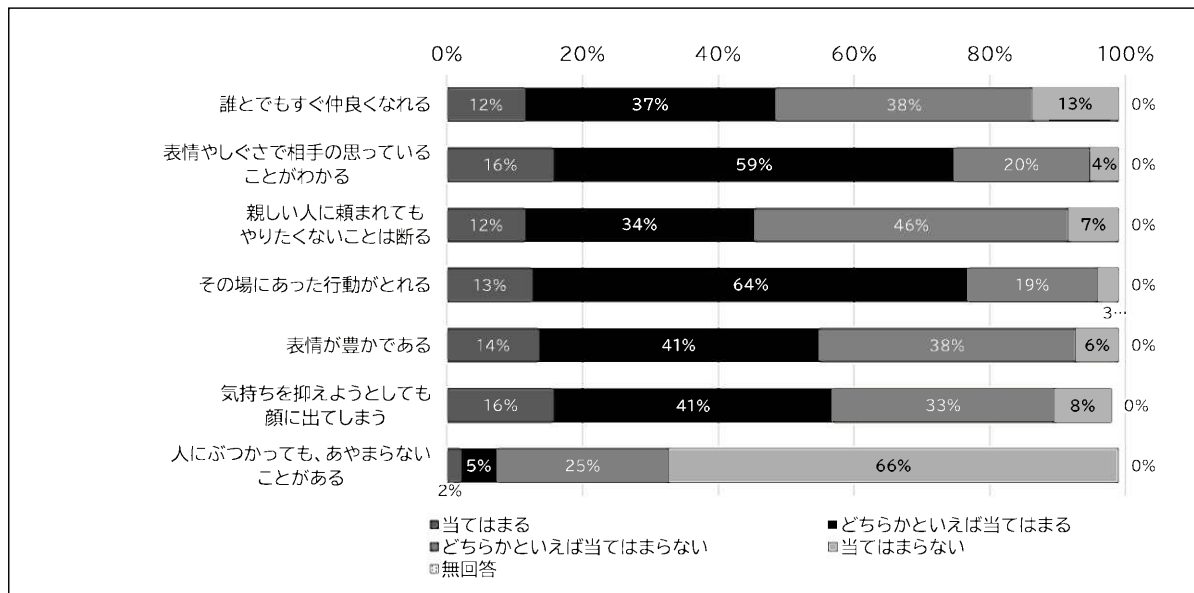
### ■地域の人とのかかわり



### ■インターネット上の人とのかかわり

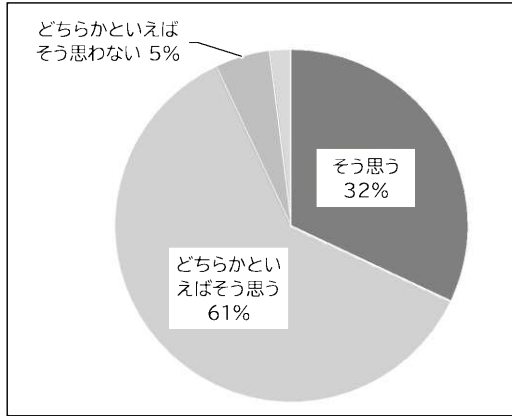


### ■他の人とのかかわり方について

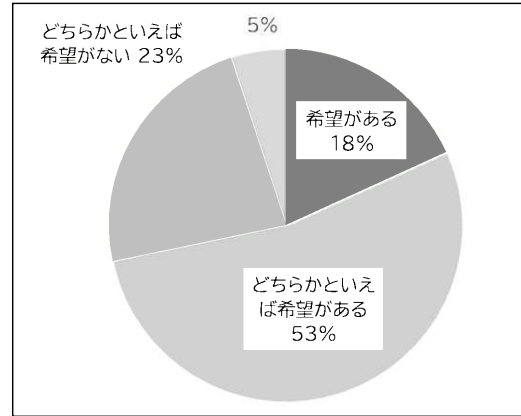


○社会のために役立つことをしたいかについて、「そう思う」が32%、「どちらかといえばそう思う」が61%となっています。  
 ○将来への明るい希望について、「どちらかといえば希望がある」が53%と最も多く、「希望がある」が18%となっています。

■社会のために役立つことがしたい

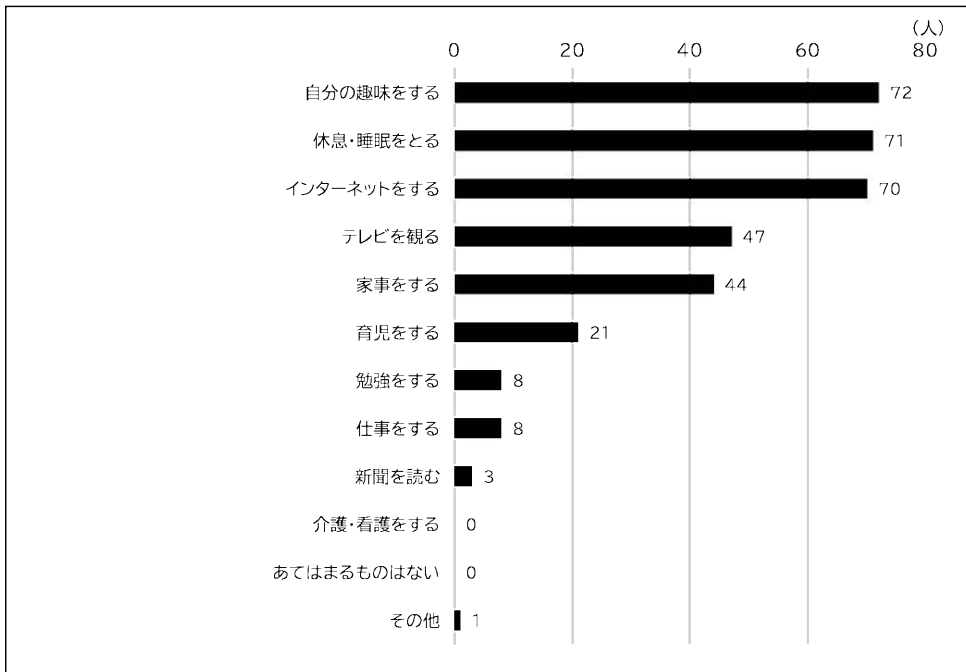


■将来への明るい希望について



○普段自宅で行っていることについて、「自分の趣味をする」が75%と最も多く、次に「休息・睡眠をとる」74%、「インターネットをする」が73%と多くなっています。

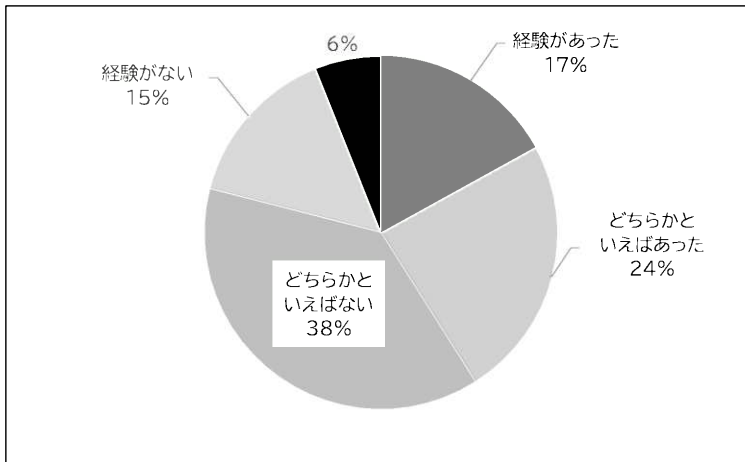
■普段自宅で行っていること ※複数回答



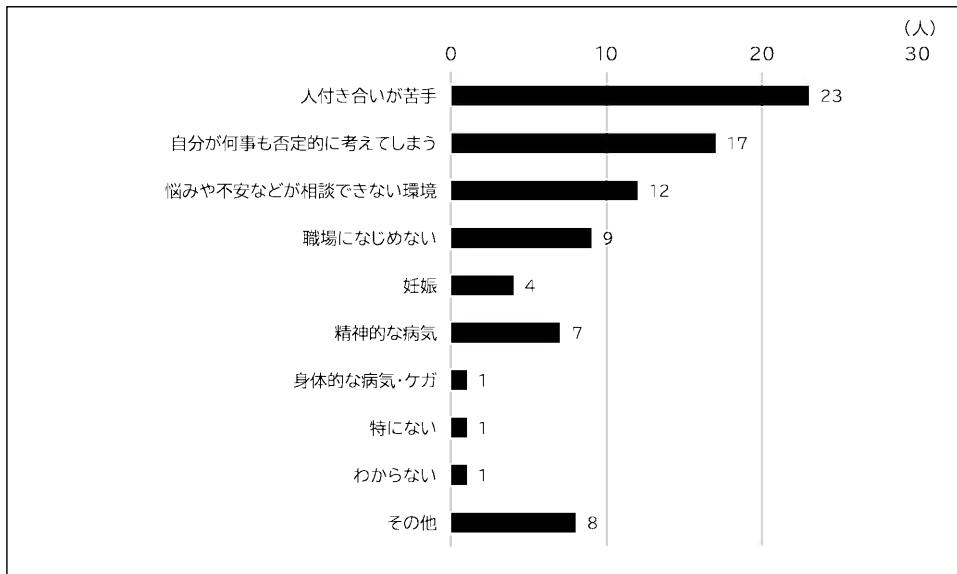
○これまでに円滑な社会生活等を送れない経験について、「経験があった」と回答した人は 17%、「どちらかといえばあった」人は 24%となっています。

○社会生活等を円滑に送ることができなかった原因について、「人付き合いが苦手」と回答する人が 58%と最も多く、次に「自分が何事も否定的に考えてしまう」が 43%、「悩みや不安などが相談できない環境」が 30%となっています。

■円滑な社会生活等を送れない経験について



■社会生活を円滑に送ることができなかった原因について ※複数回答



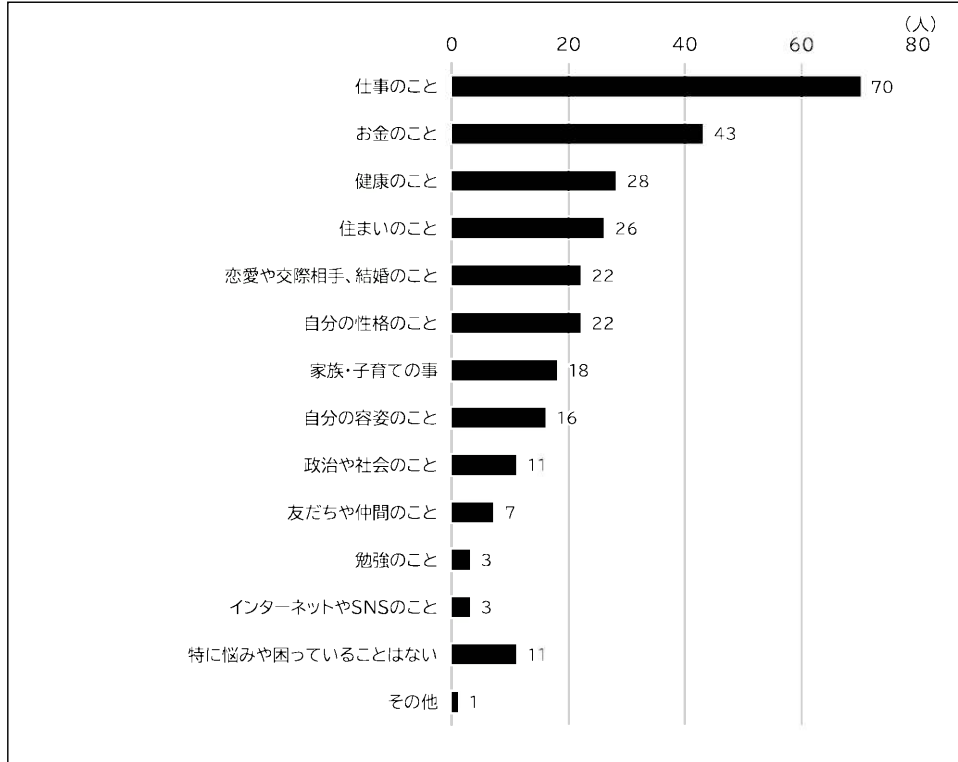
#### ④今、悩んでいることについて

○今、悩んでいることについて、「仕事のこと」が73%と最も多く、次に「お金のこと」、「健康のこと」となっています。

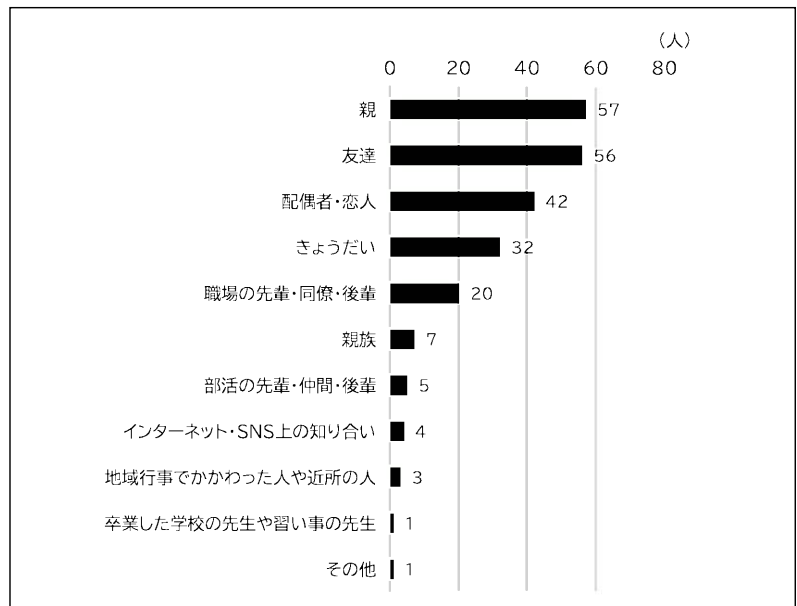
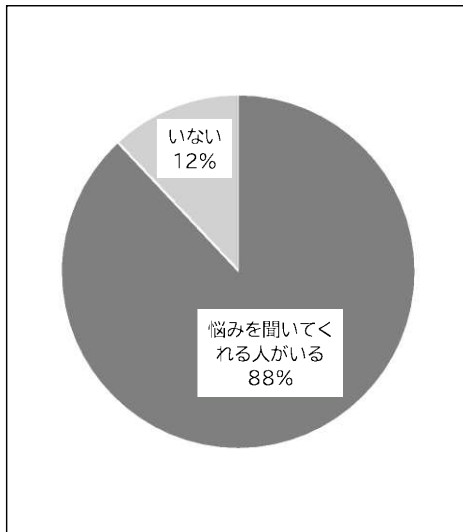
○悩みを聞いてくれる人の有無について、88%が「いる」と回答しています。

○悩みを聞いてくれる人について、「親」が67%と一番多く、次に「友達」、「配偶者・恋人」となっています。

#### ■今、悩んでいること ※複数回答



#### ■悩みを聞いてくれる人について ※複数回答

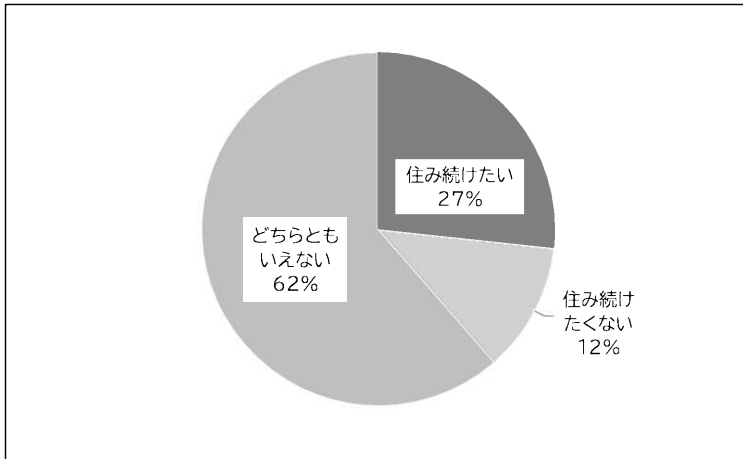


### ⑤上天草市について

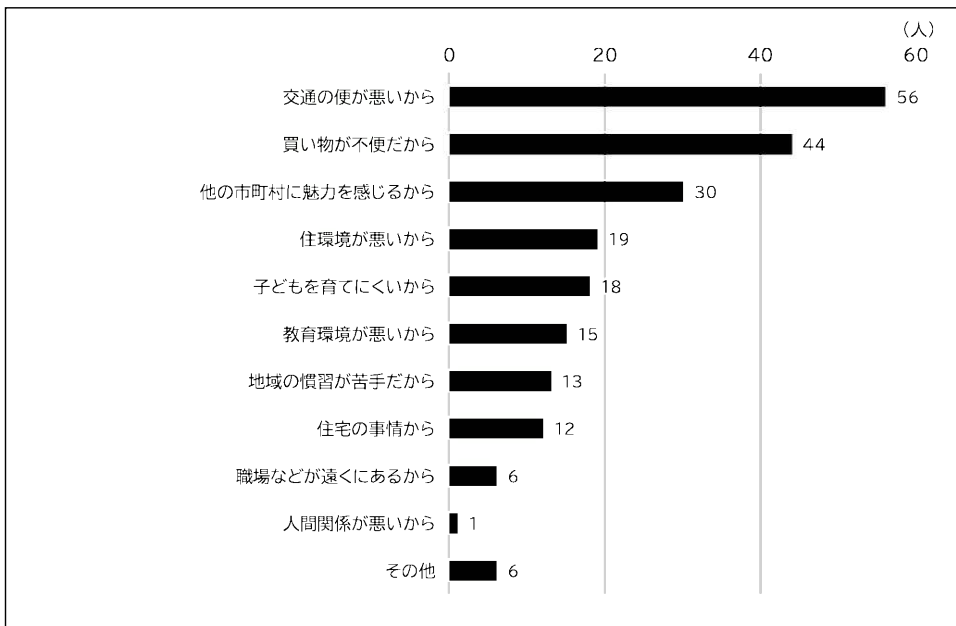
○上天草市の定住意向について、「住みたい」と回答した人は 27%、「住みたくない」と回答した人は 12%、「どちらともいえない」と回答した人は 62%となっています。

○住みたくない・どちらともいえない理由について、「交通の便が悪いから」が 81%と最も多く、次に「買い物が不便だから」、「他の市町村に魅力を感じるから」となっています。

#### ■上天草市に住みたいか



#### ■住みたくない・どちらともいえない理由 ※複数回答



○上天草市で暮らしていくために特に重要だと思うことについて、「希望する就労の場があること」が最も多く、次に「道路や公共交通機関の利便性がよいこと」、「商店・飲食店などが充実していること」となっています。

■上天草市で暮らしていくために特に重要なこと

